Section 08

「写真」アプリから写真を読み込む

覚えておきたいキーワード

- 写真ライブラリ
- アルバム
- モーメント

Macの「写真」アプリで管理している写真は、「ライブラリ」リストの写真ライブラリから確認することができます。写真ライブラリから、iMovieライブラリに写真をコピーすることも可能です。

1 「写真」アプリから写真を読み込む

1 「写真」アプリの写真を表示する

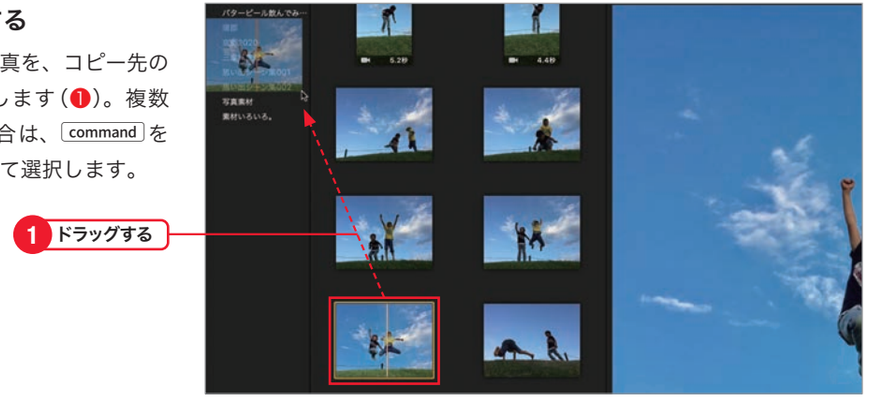
サイドバーの「ライブラリ」リストにある＜写真＞をクリックすると(❶)、ブラウザに「写真」アプリで管理している写真が一覧で表示されます。目的の項目をダブルクリックして開きます(❷)。

2 写真を確認する

項目内に含まれる写真が一覧で表示されます。写真にポインタを合わせると(❶)、プレビューで確認することができます(❷)。

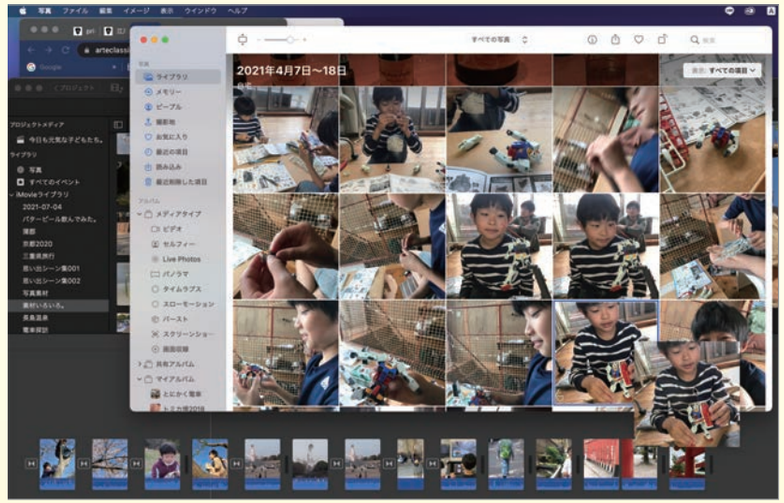
3 写真をコピーする

ブラウザから目的の写真を、コピー先のイベントにドラッグします(❶)。複数の写真を指定する場合は、command を押しながらクリックして選択します。



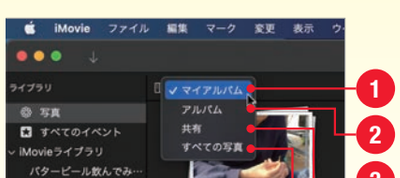
Hint Finderや写真アプリからiMovieに直接クリップを取り込む

FinderやMacの写真アプリで写真一覧を表示し、iMovieに取り込みたい写真をiMovieプロジェクトのタイムラインに直接ドラッグします。
写真の場合は、通常KenBurnsの効果付き静止画としてタイムラインに配置されます。時間や効果は＜iMovie＞→＜環境設定＞の順にクリックし設定します。
動画は写真アプリから直接配置すると静止画として扱われます。一度デスクトップにドラッグしてからiMovieのタイムラインにドラッグすると動画として配置されます。



Hint 項目別に表示する

「写真」アプリでは、イベント以外にも様々な項目別で管理されています。ポップアップメニューを切り替えることで、iMovie上でも、それらの項目別に写真を表示することができます。



名称	内容
❶ マイアルバム	「写真」アプリ上で作成したアルバムを表示します。
❷ アルバム	写真の種類によって自動的に分類されたアルバムを表示します。
❸ 共有	共有されている写真や動画を表示します。
❹ すべての写真	写真アプリに読み込まれている画像をすべて表示します。

Section 15

よく使うクリップにマークを付ける

覚えておきたいキーワード
- よく使う項目
- レートなし
- 緑色のライン

iMovieでは、よく使う素材（クリップ）にマークを付けることができます。クリップにマークを付けると、マークの付いたクリップのみを抽出できるようになります。編集作業時に使いたい項目を選ぶのに便利です。

1 よく使う項目に登録する

1 よく使うクリップを選択する

「ライブラリ」リストからイベントを選択し、ブラウザにクリップを表示します（❶）。ブラウザで、登録したいクリップをクリックし、クリップ全体を選択します（❷）。複数のクリップを選択するには、command を押しながらクリックします。

Memo クリップの一部を登録するには

ブラウザで、クリップの一部を r を押しながらドラグしてからよく使う項目に登録します。

2 よく使う項目に登録する

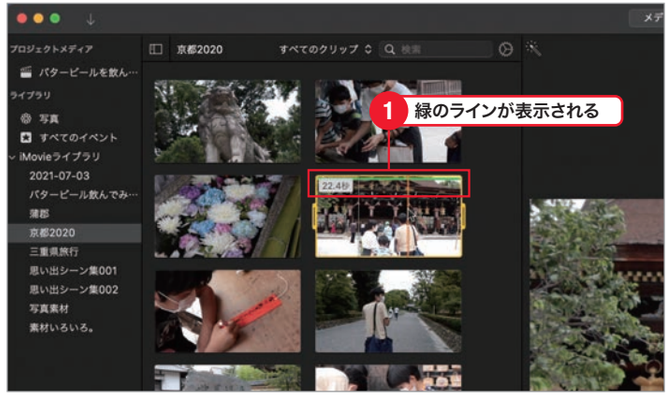
＜マーク＞メニュー→＜よく使う項目＞の順にクリックします（❶）。

Keyword マーク

iMovieでは、クリップにマークを付けることで、マークを付けたクリップだけを選別して表示することができます。特定のクリップのみを表示したい場合に便利です。

3 登録された

＜よく使う項目＞に登録されると、ブラウザのサムネールの上部に緑色のラインが表示されます（❶）。



2 よく使う項目のみを表示する

1 表示するクリップを絞り込む

ブラウザの右上のポップアップメニューから、＜よく使う項目＞をクリックします（❶）。

Memo 表示可能な項目

ポップアップメニューから、ブラウザに表示するクリップを選択することができます。
- 「すべてのクリップ」：すべてのクリップを表示
- 「不採用を隠す」：不採用にしたクリップを非表示
- 「よく使う項目」：よく使う項目を表示
- 「不採用」：不採用にしたクリップを表示

2 よく使う項目が表示される

＜よく使う項目＞マークの付いたクリップだけが表示され、その他のクリップは非表示になります（❶）。

Section 15

よく使うクリップにマークを付ける

覚えておきたいキーワード
- よく使う項目
- レートなし
- 緑色のライン

iMovieでは、よく使う素材（クリップ）にマークを付けることができます。クリップにマークを付けると、マークの付いたクリップのみを抽出できるようになります。編集作業時に使いたい項目を選ぶのに便利です。

1 よく使う項目に登録する

1 よく使うクリップを選択する

「ライブラリ」リストからイベントを選択し、ブラウザにクリップを表示します（❶）。ブラウザで、登録したいクリップをクリックし、クリップ全体を選択します（❷）。複数のクリップを選択するには、command を押しながらクリックします。

Memo クリップの一部を登録するには

ブラウザで、クリップの一部を r を押しながらドラグしてからよく使う項目に登録します。

2 よく使う項目に登録する

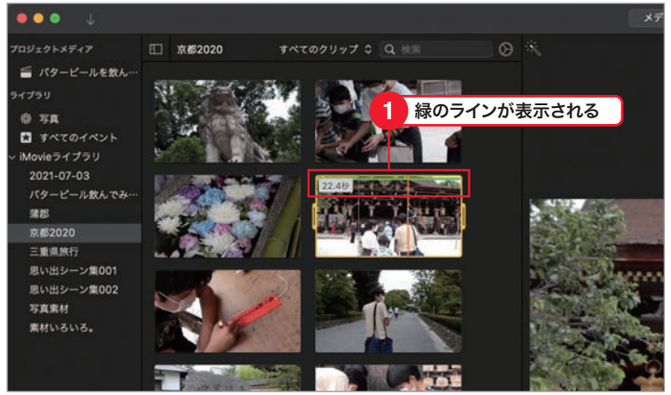
＜マーク＞メニュー→＜よく使う項目＞の順にクリックします（❶）。

Keyword マーク

iMovieでは、クリップにマークを付けることで、マークを付けたクリップだけを選別して表示することができます。特定のクリップのみを表示したい場合に便利です。

3 登録された

＜よく使う項目＞に登録されると、ブラウザのサムネールの上部に緑色のラインが表示されます（❶）。



2 よく使う項目のみを表示する

1 表示するクリップを絞り込む

ブラウザの右上のポップアップメニューから、＜よく使う項目＞をクリックします（❶）。

Memo 表示可能な項目

ポップアップメニューから、ブラウザに表示するクリップを選択することができます。
- 「すべてのクリップ」：すべてのクリップを表示
- 「不採用を隠す」：不採用にしたクリップを非表示
- 「よく使う項目」：よく使う項目を表示
- 「不採用」：不採用にしたクリップを表示

2 よく使う項目が表示される

＜よく使う項目＞マークの付いたクリップだけが表示され、その他のクリップは非表示になります（❶）。

Section 15

よく使うクリップにマークを付ける

覚えておきたいキーワード
- よく使う項目
- レートなし
- 緑色のライン

iMovieでは、よく使う素材（クリップ）にマークを付けることができます。クリップにマークを付けると、マークの付いたクリップのみを抽出できるようになります。編集作業時に使いたい項目を選ぶのに便利です。

1 よく使う項目に登録する

1 よく使うクリップを選択する

「ライブラリ」リストからイベントを選択し、ブラウザにクリップを表示します（❶）。ブラウザで、登録したいクリップをクリックし、クリップ全体を選択します（❷）。複数のクリップを選択するには、command を押しながらクリックします。

Memo クリップの一部を登録するには

ブラウザで、クリップの一部を r を押しながらドラグしてからよく使う項目に登録します。

2 よく使う項目に登録する

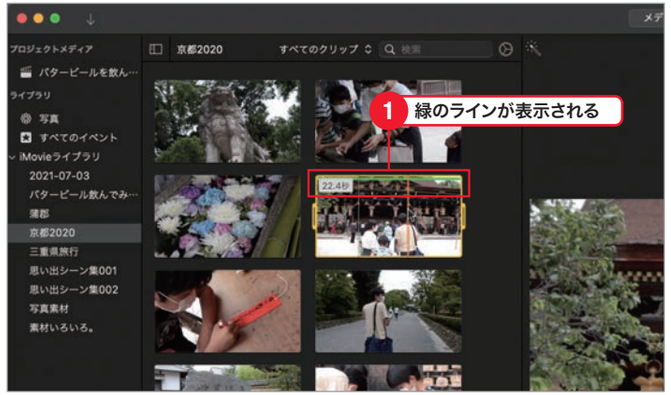
＜マーク＞メニュー→＜よく使う項目＞の順にクリックします（❶）。

Keyword マーク

iMovieでは、クリップにマークを付けることで、マークを付けたクリップだけを選別して表示することができます。特定のクリップのみを表示したい場合に便利です。

3 登録された

＜よく使う項目＞に登録されると、ブラウザのサムネールの上部に緑色のラインが表示されます（❶）。



2 よく使う項目のみを表示する

1 表示するクリップを絞り込む

ブラウザの右上のポップアップメニューから、＜よく使う項目＞をクリックします（❶）。

Memo 表示可能な項目

ポップアップメニューから、ブラウザに表示するクリップを選択することができます。
- 「すべてのクリップ」：すべてのクリップを表示
- 「不採用を隠す」：不採用にしたクリップを非表示
- 「よく使う項目」：よく使う項目を表示
- 「不採用」：不採用にしたクリップを表示

2 よく使う項目が表示される

＜よく使う項目＞マークの付いたクリップだけが表示され、その他のクリップは非表示になります（❶）。

Section 17

クリップをタイムラインに追加する

覚えておきたいキーワード
- クリップ
- タイムライン
- イベント

ビデオクリップや写真、オーディオクリップといった素材は、タイムラインに配置することではじめて、ムービーの一部として編集できるようになります。ここでは、クリップをタイムラインに追加する方法を解説します。

1 クリップを追加する

1 クリップを選択する

「ライブラリ」リストから、使いたいクリップが入ったイベントをクリックします(❶)。ブラウザで、目的のクリップをクリックして選択します(❷)。

Hint クリップの一部分を選択するには

ブラウザ上のクリップをrを押しながらドラッグすると、クリップの一部を部分的に選択することができます。

2 タイムラインに追加する

追加したい位置にクリップをドラッグすると、タイムラインにクリップが追加されます(❶)。

Hint タイムラインの末尾に追加する

クリップをクリックしたときに表示される<+>をクリックするか、eを押すと、クリップがタイムラインの末尾に追加されます。

2 クリップを置き換える

1 クリップをドラッグする

ブラウザで置き換えたいクリップを選択し(❶)、タイムライン上にある置き換え元のクリップにドラッグして重ねます(❷)。

2 <置き換える>をクリックする

メニューが表示されるので、<置き換える>をクリックします(❶)。

Hint その他の置き換え方法

タイムラインに配置済みのクリップの継続時間を保ったまま、クリップの先頭から置き換えるには<始点から置き換える>をクリックします。同様に、クリップの終点を基点として置き換える場合は<終点から置き換える>をクリックします。

Stepup クリップを挿入するには

手順2の画面で<挿入>をクリックすると(❶)、ドラッグ先にあったクリップは分割され、新しくクリップが挿入されます。

Section 22

映像の切り替え効果を付ける ― トランジション ―

覚えておきたいキーワード

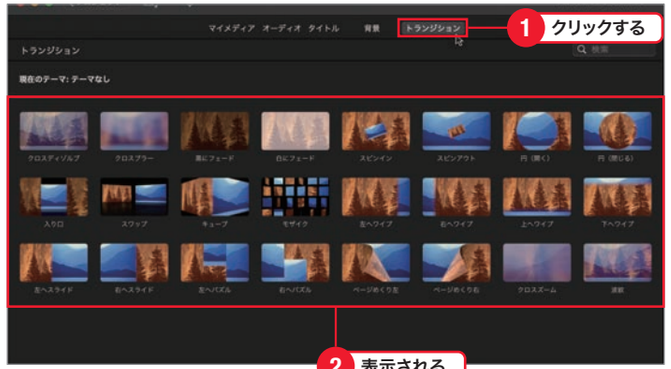
- トランジション
- 切り替え効果
- クロスディゾルブ

iMovieでは、クリップとクリップのつなぎに様々な効果を与えるトランジションが数十種類用意されています。余韻を残しながら次のクリップに移りたい場合や、場面転換シーンなどで使うと効果的です。

1 トランジションを追加する

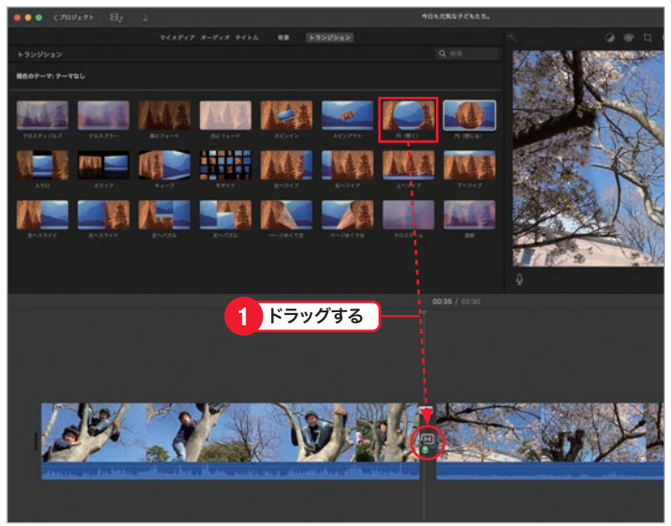
1 トランジションを表示する

ブラウザ上部の＜トランジション＞をクリックすると（❶）、ブラウザにトランジションが一覧表示されます（❷）。トランジション上でポインタを左右に動かすと、ビューアでトランジションの動きがプレビューできます。



2 トランジションを追加する

使用したいトランジションをタイムライン上のクリップとクリップの間にドラッグすると、トランジションが追加されます（❶）。



Memo トランジションを置き換える

すでにトランジションが設定されている場合、同様の操作で、適用したいトランジションをトランジションアイコンの上へドラッグすると置き換えられます。

2 トランジションの継続時間を変更する

1 トランジションアイコンをダブルクリックする

タイムライン上のトランジションアイコンをダブルクリックし、トランジションコントロールを表示します（❶）。

2 トランジションの継続時間を変更する

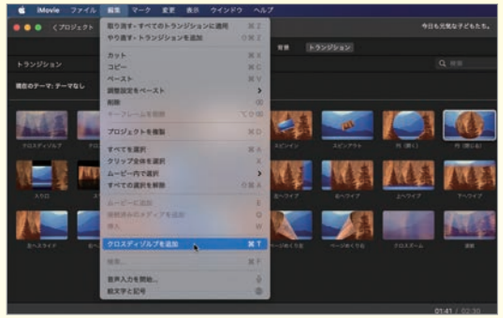
＜継続時間＞フィールドの数字を変更すると、トランジションの継続時間を変更できます（❶）。継続時間は、0.1秒単位で設定可能です。最後に＜適用＞をクリックします（❷）。

Hint ほかのトランジションにも同じ設定を適用する

トランジションアイコンをダブルクリックして、＜すべてに適用＞をクリックすると、そのトランジションの設定がほかのトランジションにも適用されます。適用されるのは、はじめにダブルクリックしたトランジションの「タイプ」と「継続時間」です。

Stepup すべてのクリップ間にトランジションを設定したい

すべてのクリップにトランジションを追加するには、command＋aキーを押してタイムライン上のクリップをすべて選択した後、＜編集＞→＜クロスディゾルブを追加＞の順にクリックします。
トランジションの種類は＜クロスディゾルブ＞なので、必要に応じて修正します。



Section 26

映像のカラーバランスを手動で補正する

覚えておきたいキーワード
- 色補正
- マルチスライダ
- サチュレーション

自動のカラーバランス補正だけでは調整しきれないような補正は、手動で行うことができます。インターフェイスは直感的で、初心者でも調整しやすいものになっています。

1 明るさとコントラストを調整する

1 明るさを調整する

明るさを調整したいクリップを選択しておきます。ビューア上部の<色補正>をクリックします(❶)。マルチスライダコントロールの<●>/<●>/<●>を左右にドラッグすることで、クリップの明るさを調整します(❷)。

2 コントラストを調整する

マルチスライダコントロールの<●>/<◑>を左右にドラッグすると、クリップのコントラストを調整できます(❶)。

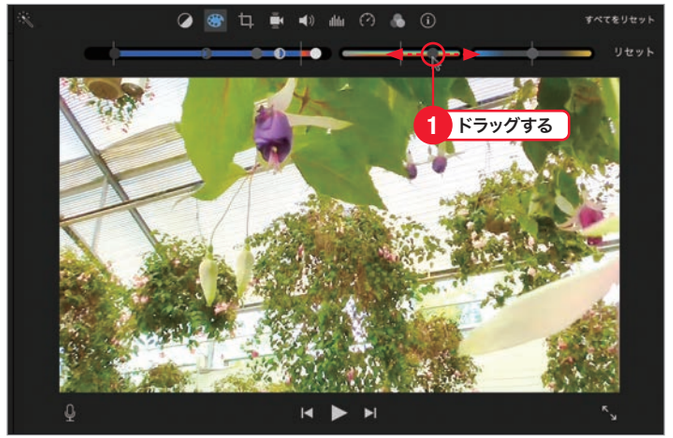
Hint ほかのシーンの調整結果を確認したい

色補正を行っている途中に、クリップ上にカーソルを合わせてスキミングすることで、同一クリップのほかのシーンではどのように見えるかを確認することができます。

2 彩度と色温度を調整する

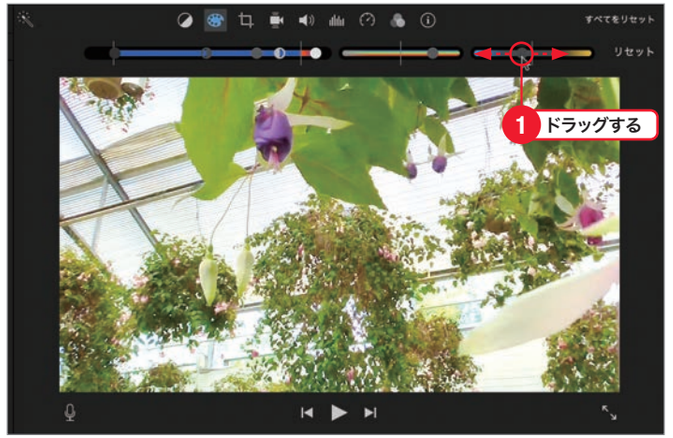
1 彩度を調整する

前ページ手順1の画面で、サチュレーションスライダを左右にドラッグすると、クリップの色の鮮やかさを調整することができます(❶)。



2 色温度を調整する

色温度スライダを左右にドラッグすると、クリップの色温度を調整することができます(❶)。

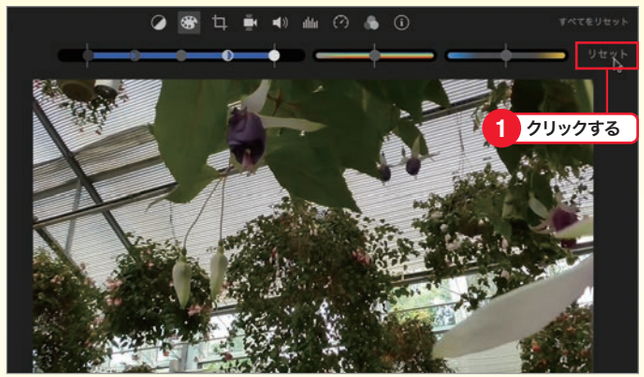


Stepup 彩度/色温度を使った表現

サチュレーションスライダを一番左側にすると、白黒になります。その後、色温度を調整すると、シアン調、セピア調のモノトーンを表現することができます。

Hint 補正を解除する

色補正を解除したい場合は、<リセット>をクリックします(❶)。



Section

33 映像を部分的に置き換える — カットアウェイ —

覚えておきたいキーワード

- カットアウェイ
- 不透明度
- フェード

カットアウェイとは、ベースとなるクリップを再生中に別のクリップを重ねることで、一時的にクリップを切り替える手法です。クリップの挿入とは異なり、ベースとなるクリップを分割しないため、クリップの位置を柔軟に調整できます。

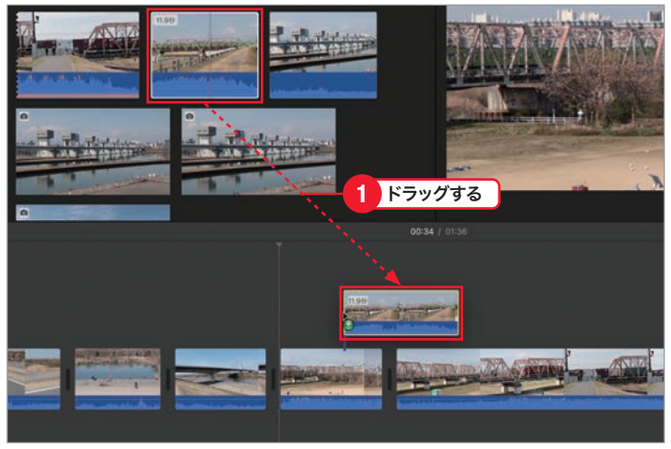
1 カットアウェイクリップを追加する

1 クリップを選択する

イベントをブラウザに表示し、カットアウェイとして使用するクリップを選択します（❶）。

2 カットアウェイで配置する

選択したクリップを、タイムライン上の、ベースとなるクリップの上の余白部分にドラッグします（❶）。



3 カットアウェイクリップが配置された

カットアウェイクリップが配置されました（❶）。クリップ上でポインタを動かしてスキミングすると、ビューアで効果を確認できます（❷）。

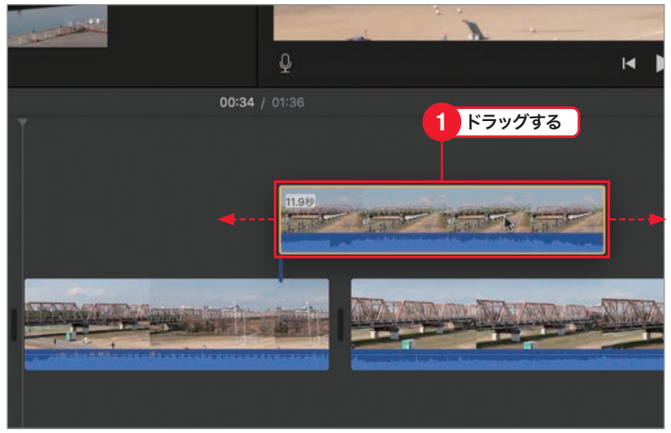
Hint カットアウェイクリップを削除する

タイムライン上のカットアウェイクリップをクリックし、delete を押すと削除できます。

2 カットアウェイクリップの位置と継続時間を調整する

1 位置を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップをドラッグすると、位置を調整することができます（❶）。

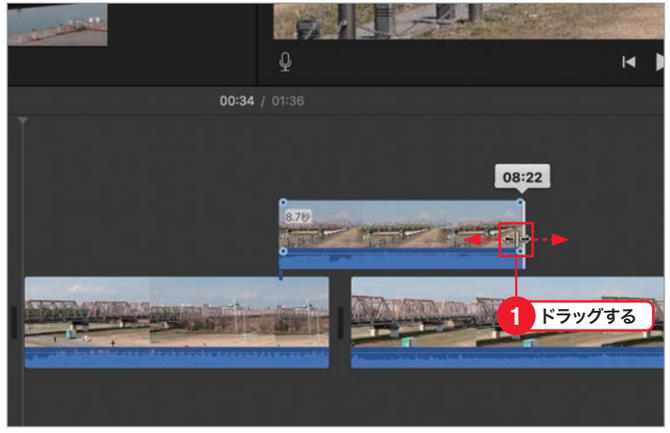


Memo クリップをまたいでも大丈夫?

カットアウェイクリップは、ベースとなるクリップとほかのクリップをまたいで配置しても問題ありません。

2 継続時間を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップの端部を左右にドラッグすると、継続時間を調整することができます（❶）。



Section 50

オーディオの音量を詳細に調整する

覚えておきたいキーワード
- キーフレーム
- キーフレームを削除
- 音量コントロール

動画に含まれる音声や効果音、BGMは、キーフレームを追加することで部分的に音量を調整することができます。また、BGMの音量を抑えて動画側の音声を聞かせたい場合などに使えるテクニックを紹介します。

1 キーフレームで音量を微調整する

1 キーフレームを追加する

タイムライン上のクリップの波形上にある音量コントロールを option を押したままクリックし、2つ以上のキーフレームを追加します(❶)。

2 キーフレームの位置を移動する

キーフレームを左右にドラッグし、オーディオの音量を変更したい位置に移動します(❶)。

3 音量を変更する

キーフレーム、またはキーフレーム間の音量コントロールを上下にドラッグすると、オーディオの音量を変更することができます(❶)。

Hint キーフレームを削除する

キーフレームを削除するには、 control を押しながらキーフレームをクリックし、<キーフレームを削除>をクリックします。まとめて削除する場合は、 shift を押しながら複数選択してから削除します。

2 選択したクリップのオーディオを優先する

1 メインのクリップを選択する

タイムライン上で、聞かせたいオーディオが含まれるクリップを選択します(❶)。

2 <ほかのクリップの音量を下げる>をクリックする

ブラウザ上部の<ボリューム>をクリックし(❶)、<ほかのクリップの音量を下げる>をクリックしてオンにします(❷)。

3 効果を確認する

選択したクリップが再生されている間は、ほかのクリップの音量が下げられたのが確認できます(❶)。音量の下げ幅を調整するには、<ほかのクリップの音量を下げる>スライダを調整します(❷)。

Section

64 プロジェクトを作成する

覚えておきたいキーワード
- プロジェクト
- ムービー
- テーマ

iOS ／ iPadOS版iMovieも、Mac版と同じ手順でムービーを作成していきます。本書では、iPadのランドスケープモード（横位置）で使用した画面で解説しています。

1 新規プロジェクトを作成する

1 新規プロジェクトを作成する

上部メニューの＜プロジェクト＞をタップし（❶）、プロジェクトブラウザ内の＜＋＞をタップします（❷）。現在の画面が編集画面の場合は、＜完了＞→＜プロジェクト＞をタップして、いったんプロジェクトブラウザに戻ります。

2 ＜ムービー＞をタップする

新規プロジェクト画面で、通常のムービーか、映画の予告編風ムービーかを指定します。ここでは、＜ムービー＞をタップします（❶）。予告編の作成方法については、P.182を参照してください。

3 メディアを選択する

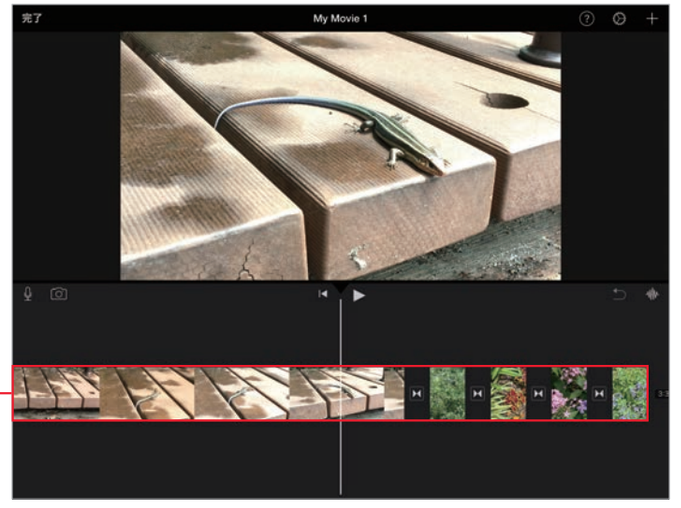
編集素材として使用したいビデオをタップして選択します（❶）。このとき、長押しすると拡大表示されます。選択が完了したら＜ムービーを作成＞をタップします（❷）。

Memo ムービーの解像度について

iPhoneまたはiPadのiMovieでは、プロジェクト内のクリップの解像度が一番高いクリップに合わせてムービーが作成されます。フルHDサイズ（1,920 x 1,080ピクセル）のクリップと4Kサイズ（3,840 × 2,160ピクセル）が同じプロジェクトにある場合は4Kサイズで出力されます。

4 プロジェクトが作成された

プロジェクトが作成されました（❶）。選択したクリップが自動的にタイムラインに並べられます。



Stepup テーマを変更するには

プロジェクトを作成すると、自動的に＜シンプル＞というテーマが適用されます。このテーマを変更するには、画面右上の＜プロジェクト設定＞をタップし（❶）、好みのテーマをタップして選択します（❷）。

Section

69 トランジションを変更する

覚えておきたいキーワード

- トランジション
- クロスディゾルブ
- ワイプ

クリップとクリップの間のつなぎ効果のことをトランジションといいます。必要に応じてトランジションを変更しましょう。iOS／iPadOS版iMovieでは、タイムラインにクリップを追加すると、自動的にディゾルブが適用されます。

1 トランジションを変更する

1 トランジションアイコンを選択する

タイムライン上で、クリップ間に配置されているトランジションアイコンをタップして選択します（❶）。

2 スタイルを選択する

インスペクタに選択可能なトランジションのスタイルが表示されます。設定したいスタイルをタップします（❶）。

Memo 選択できないトランジションがある

クリップの継続時間が短すぎてトランジションに必要な時間が確保できない場合、トランジションがグレーアウトして選択できません。

3 継続時間を指定する

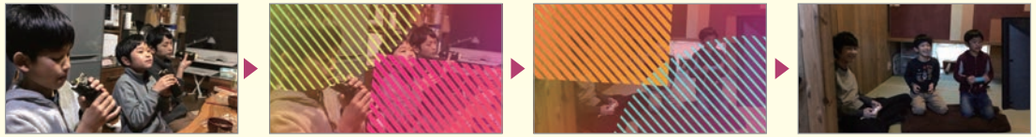
インスペクタにあるトランジションの継続時間をタップします（❶）。設定できる時間は前後のクリップの長さや使用するトランジションによって異なりますが、最大で2秒まで設定できます。

Memo トランジションの種類

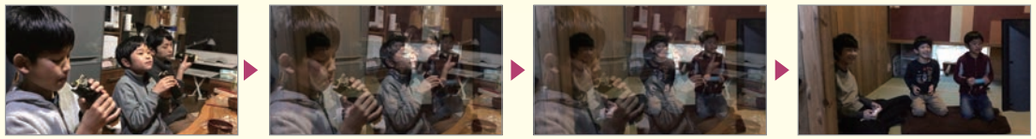
なし

テーマ

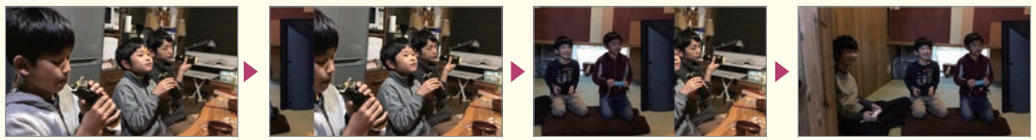
※効果は、使用しているテーマによって異なります。



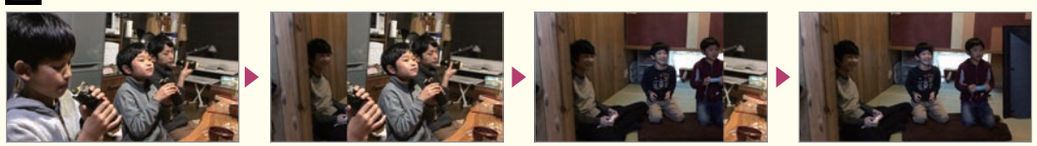
ディゾルブ



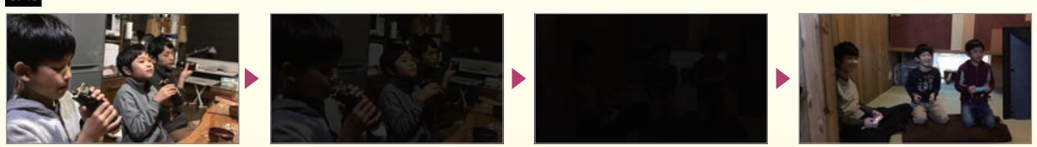
スライド



ワイプ



フェード



Section 72

作成したムービーを出力・共有する

覚えておきたいキーワード
- アプリ
- LINE
- 転送

iOS／iPadOS版iMovieでは、あらかじめインストールされたアプリのサービスと連携し、LINEやTwitter、FacebookなどのSNSなどで共有することができます。ここではLINEを例にとって解説します。

1 プロジェクトを出力する

1 プロジェクト画面を開く

編集画面左上の＜完了＞をタップします(❶)。プロジェクト画面が表示されている場合は、共有・出力したいプロジェクトをタップします。

2 送信オプションを設定する

＜送信＞ボタンをタップし(❶)、＜オプション＞をタップします(❷)。

3 解像度を設定する

共有するムービーの解像度を設定します(❶)。ここでは例として解像度＜720p HD＞を設定します。＜完了＞をタップします。

2 ムービーを出力する

1 アプリを選択する

共有可能なアプリアイコン一覧から利用したいアイコンをタップします(❶)。ここでは、＜LINE＞アイコンをタップします。

2 送信先を指定する

送信先の選択画面が表示されます。ムービーを送信したい相手をタップします(❶)。

Memo 送りたい相手が表示されない

送信先一覧にムービーを送りたい相手が表示されていない場合、＜もっと見る＞をタップして送信先を選択してください。

3 メッセージを転送する

メッセージを入力し(❶)、＜転送＞をタップします(❷)。LINEメッセージが送信されます。LINEアプリを起動し、確認してみましょう。

Memo iPhoneでファイルとして保存するには

手順1の画面で上方向にスワイプすると表示される＜ビデオを保存＞をタップします。

Section 17

クリップをタイムラインに追加する

覚えておきたいキーワード
- クリップ
- タイムライン
- イベント

ビデオクリップや写真、オーディオクリップといった素材は、タイムラインに配置することではじめて、ムービーの一部として編集できるようになります。ここでは、クリップをタイムラインに追加する方法を解説します。

1 クリップを追加する

1 クリップを選択する

「ライブラリ」リストから、使いたいクリップが入ったイベントをクリックします(❶)。ブラウザで、目的のクリップをクリックして選択します(❷)。

Hint クリップの一部分を選択するには

ブラウザ上のクリップをrを押しながらドラッグすると、クリップの一部を部分的に選択することができます。

2 タイムラインに追加する

追加したい位置にクリップをドラッグすると、タイムラインにクリップが追加されます(❶)。

Hint タイムラインの末尾に追加する

クリップをクリックしたときに表示される<+>をクリックするか、eを押すと、クリップがタイムラインの末尾に追加されます。

2 クリップを置き換える

1 クリップをドラッグする

ブラウザで置き換えたいクリップを選択し(❶)、タイムライン上にある置き換え元のクリップにドラッグして重ねます(❷)。

2 <置き換える>をクリックする

メニューが表示されるので、<置き換える>をクリックします(❶)。

Hint その他の置き換え方法

タイムラインに配置済みのクリップの継続時間を保ったまま、クリップの先頭から置き換えるには<始点から置き換える>をクリックします。同様に、クリップの終点を基点として置き換える場合は<終点から置き換える>をクリックします。

Stepup クリップを挿入するには

手順2の画面で<挿入>をクリックすると(❶)、ドラッグ先にあったクリップは分割され、新しくクリップが挿入されます。

Section 22

映像の切り替え効果を付ける ― トランジション ―

覚えておきたいキーワード

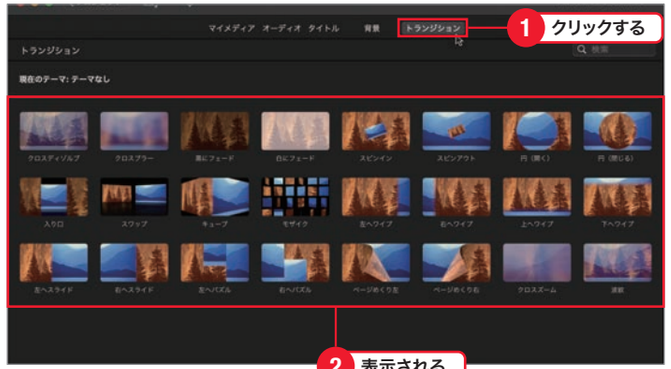
- トランジション
- 切り替え効果
- クロスディゾルブ

iMovieでは、クリップとクリップのつなぎに様々な効果を与えるトランジションが数十種類用意されています。余韻を残しながら次のクリップに移りたい場合や、場面転換シーンなどで使うと効果的です。

1 トランジションを追加する

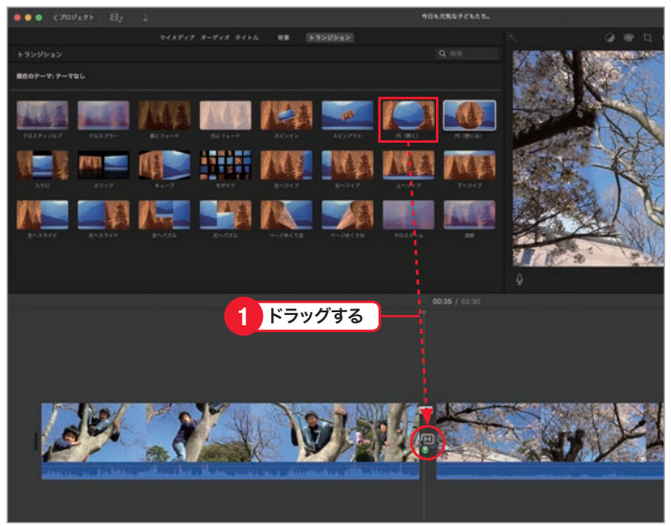
1 トランジションを表示する

ブラウザ上部の＜トランジション＞をクリックすると（❶）、ブラウザにトランジションが一覧表示されます（❷）。トランジション上でポインタを左右に動かすと、ビューアでトランジションの動きがプレビューできます。



2 トランジションを追加する

使用したいトランジションをタイムライン上のクリップとクリップの間にドラッグすると、トランジションが追加されます（❶）。



Memo トランジションを置き換える

すでにトランジションが設定されている場合、同様の操作で、適用したいトランジションをトランジションアイコンの上へドラッグすると置き換えられます。

2 トランジションの継続時間を変更する

1 トランジションアイコンをダブルクリックする

タイムライン上のトランジションアイコンをダブルクリックし、トランジションコントロールを表示します（❶）。

2 トランジションの継続時間を変更する

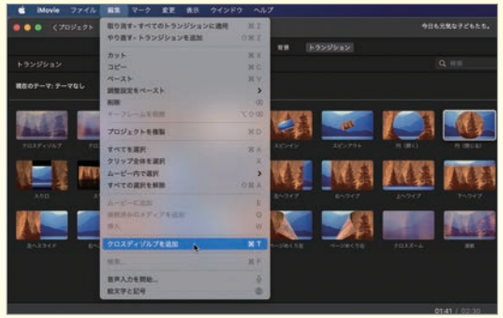
＜継続時間＞フィールドの数字を変更すると、トランジションの継続時間を変更できます（❶）。継続時間は、0.1秒単位で設定可能です。最後に＜適用＞をクリックします（❷）。

Hint ほかのトランジションにも同じ設定を適用する

トランジションアイコンをダブルクリックして、＜すべてに適用＞をクリックすると、そのトランジションの設定がほかのトランジションにも適用されます。適用されるのは、はじめにダブルクリックしたトランジションの「タイプ」と「継続時間」です。

Stepup すべてのクリップ間にトランジションを設定したい

すべてのクリップにトランジションを追加するには、command＋aキーを押してタイムライン上のクリップをすべて選択した後、＜編集＞→＜クロスディゾルブを追加＞の順にクリックします。
トランジションの種類は＜クロスディゾルブ＞なので、必要に応じて修正します。



Section 26

映像のカラーバランスを手動で補正する

覚えておきたいキーワード
- 色補正
- マルチスライダ
- サチュレーション

自動のカラーバランス補正だけでは調整しきれないような補正は、手動で行うことができます。インターフェイスは直感的で、初心者でも調整しやすいものになっています。

1 明るさとコントラストを調整する

1 明るさを調整する

明るさを調整したいクリップを選択しておきます。ビューア上部の<色補正>をクリックします(❶)。マルチスライダコントロールの<●>/<●>/<●>を左右にドラッグすることで、クリップの明るさを調整します(❷)。

2 コントラストを調整する

マルチスライダコントロールの<●>/<●>を左右にドラッグすると、クリップのコントラストを調整できます(❶)。

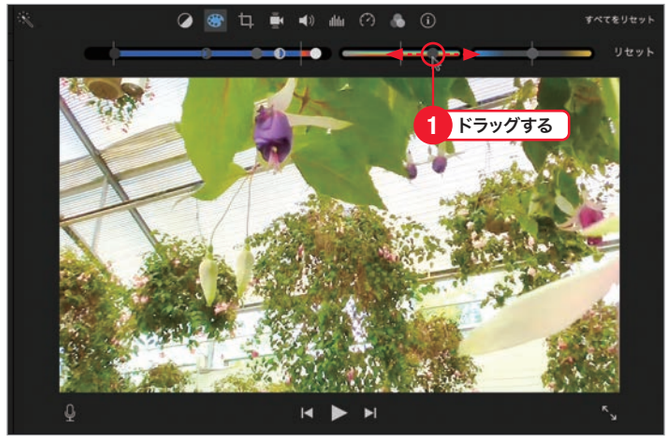
Hint ほかのシーンの調整結果を確認したい

色補正を行っている途中に、クリップ上にカーソルを合わせてスキミングすることで、同一クリップのほかのシーンではどのように見えるかを確認することができます。

2 彩度と色温度を調整する

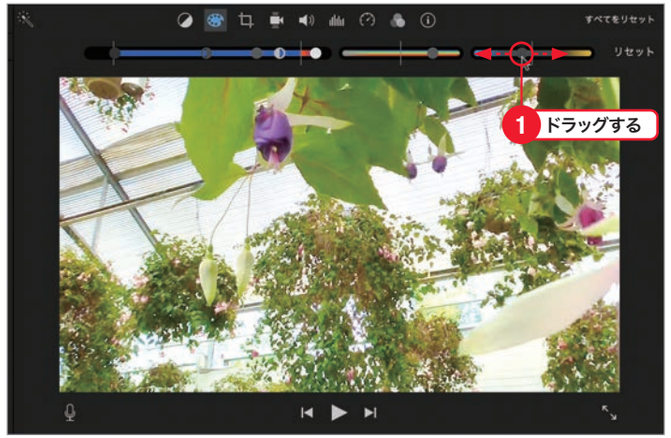
1 彩度を調整する

前ページ手順1の画面で、サチュレーションスライダを左右にドラッグすると、クリップの色の鮮やかさを調整することができます(❶)。



2 色温度を調整する

色温度スライダを左右にドラッグすると、クリップの色温度を調整することができます(❶)。

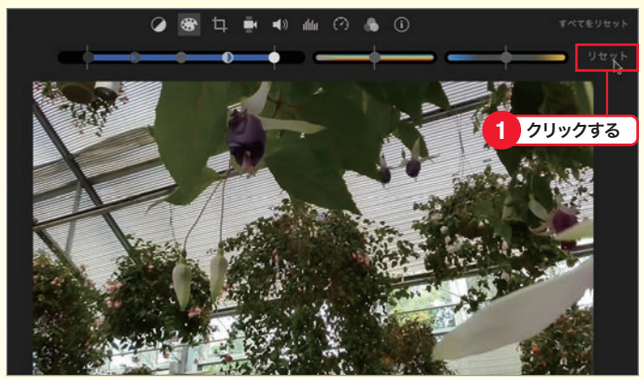


Stepup 彩度/色温度を使った表現

サチュレーションスライダを一番左側にすると、白黒になります。その後、色温度を調整すると、シアン調、セピア調のモノトーンを表現することができます。

Hint 補正を解除する

色補正を解除したい場合は、<リセット>をクリックします(❶)。



Section

33 映像を部分的に置き換える — カットアウェイ —

覚えておきたいキーワード

- カットアウェイ
- 不透明度
- フェード

カットアウェイとは、ベースとなるクリップを再生中に別のクリップを重ねることで、一時的にクリップを切り替える手法です。クリップの挿入とは異なり、ベースとなるクリップを分割しないため、クリップの位置を柔軟に調整できます。

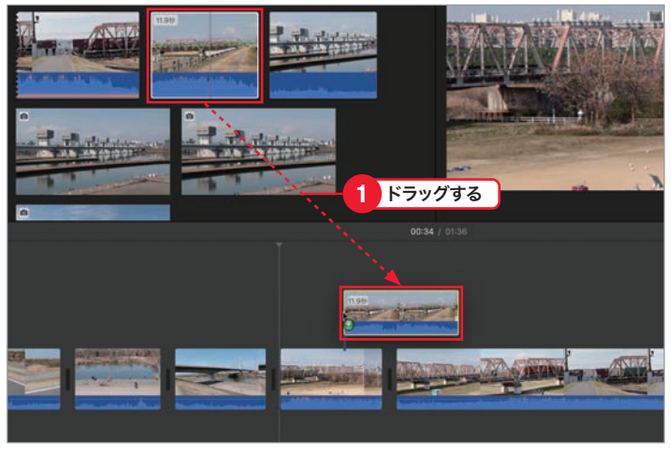
1 カットアウェイクリップを追加する

1 クリップを選択する

イベントをブラウザに表示し、カットアウェイとして使用するクリップを選択します（❶）。

2 カットアウェイで配置する

選択したクリップを、タイムライン上の、ベースとなるクリップの上の余白部分にドラッグします（❶）。



3 カットアウェイクリップが配置された

カットアウェイクリップが配置されました（❶）。クリップ上でポインタを動かしてスキミングすると、ビューアで効果を確認できます（❷）。

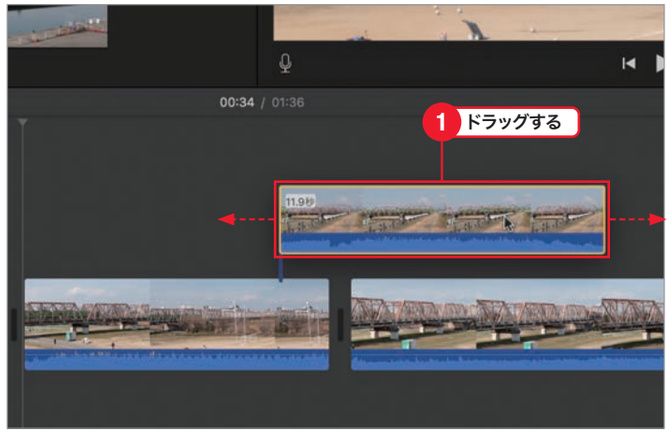
Hint カットアウェイクリップを削除する

タイムライン上のカットアウェイクリップをクリックし、delete を押すと削除できます。

2 カットアウェイクリップの位置と継続時間を調整する

1 位置を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップをドラッグすると、位置を調整することができます（❶）。

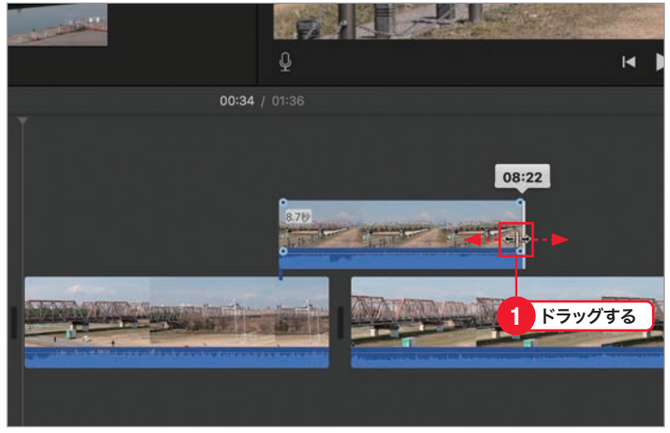


Memo クリップをまたいでも大丈夫?

カットアウェイクリップは、ベースとなるクリップとほかのクリップをまたいで配置しても問題ありません。

2 継続時間を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップの端部を左右にドラッグすると、継続時間を調整することができます（❶）。



Section 50

オーディオの音量を詳細に調整する

覚えておきたいキーワード
- キーフレーム
- キーフレームを削除
- 音量コントロール

動画に含まれる音声や効果音、BGMは、キーフレームを追加することで部分的に音量を調整することができます。また、BGMの音量を抑えて動画側の音声を聞かせたい場合などに使えるテクニックを紹介します。

1 キーフレームで音量を微調整する

1 キーフレームを追加する

タイムライン上のクリップの波形上にある音量コントロールを option を押したままクリックし、2つ以上のキーフレームを追加します(❶)。

2 キーフレームの位置を移動する

キーフレームを左右にドラッグし、オーディオの音量を変更したい位置に移動します(❶)。

3 音量を変更する

キーフレーム、またはキーフレーム間の音量コントロールを上下にドラッグすると、オーディオの音量を変更することができます(❶)。

Hint キーフレームを削除する

キーフレームを削除するには、 control を押しながらキーフレームをクリックし、<キーフレームを削除>をクリックします。まとめて削除する場合は、 shift を押しながら複数選択してから削除します。

2 選択したクリップのオーディオを優先する

1 メインのクリップを選択する

タイムライン上で、聞かせたいオーディオが含まれるクリップを選択します(❶)。

2 <ほかのクリップの音量を下げる>をクリックする

ブラウザ上部の<ボリューム>をクリックし(❶)、<ほかのクリップの音量を下げる>をクリックしてオンにします(❷)。

3 効果を確認する

選択したクリップが再生されている間は、ほかのクリップの音量が下げられたのが確認できます(❶)。音量の下げ幅を調整するには、<ほかのクリップの音量を下げる>スライダを調整します(❷)。

Section

64 プロジェクトを作成する

覚えておきたいキーワード
- プロジェクト
- ムービー
- テーマ

iOS ／ iPadOS版iMovieも、Mac版と同じ手順でムービーを作成していきます。本書では、iPadのランドスケープモード（横位置）で使用した画面で解説しています。

1 新規プロジェクトを作成する

1 新規プロジェクトを作成する

上部メニューの＜プロジェクト＞をタップし（❶）、プロジェクトブラウザ内の＜＋＞をタップします（❷）。現在の画面が編集画面の場合は、＜完了＞→＜プロジェクト＞をタップして、いったんプロジェクトブラウザに戻ります。

2 ＜ムービー＞をタップする

新規プロジェクト画面で、通常のムービーか、映画の予告編風ムービーかを指定します。ここでは、＜ムービー＞をタップします（❶）。予告編の作成方法については、P.182を参照してください。

3 メディアを選択する

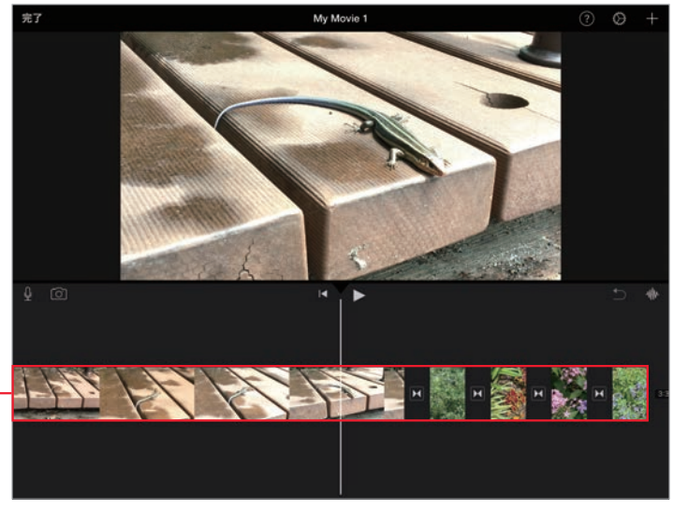
編集素材として使用したいビデオをタップして選択します（❶）。このとき、長押しすると拡大表示されます。選択が完了したら＜ムービーを作成＞をタップします（❷）。

Memo ムービーの解像度について

iPhoneまたはiPadのiMovieでは、プロジェクト内のクリップの解像度が一番高いクリップに合わせてムービーが作成されます。フルHDサイズ（1,920 x 1,080ピクセル）のクリップと4Kサイズ（3,840 × 2,160ピクセル）が同じプロジェクトにある場合は4Kサイズで出力されます。

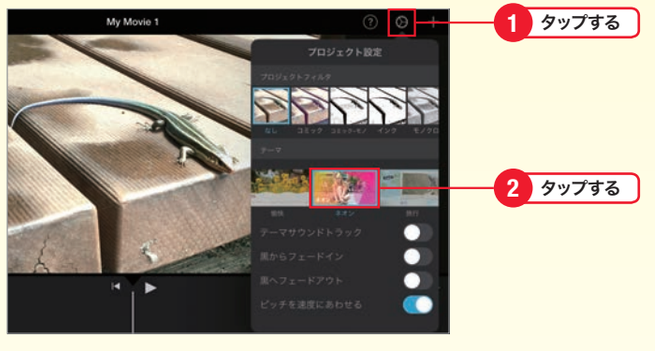
4 プロジェクトが作成された

プロジェクトが作成されました（❶）。選択したクリップが自動的にタイムラインに並べられます。



Stepup テーマを変更するには

プロジェクトを作成すると、自動的に＜シンプル＞というテーマが適用されます。このテーマを変更するには、画面右上の＜プロジェクト設定＞をタップし（❶）、好みのテーマをタップして選択します（❷）。



Section

69 トランジションを変更する

覚えておきたいキーワード
- トランジション
- クロスディゾルブ
- ワイプ

クリップとクリップの間のつなぎ効果のことをトランジションといいます。必要に応じてトランジションを変更しましょう。iOS／iPadOS版iMovieでは、タイムラインにクリップを追加すると、自動的にディゾルブが適用されます。

1 トランジションを変更する

1 トランジションアイコンを選択する

タイムライン上で、クリップ間に配置されているトランジションアイコンをタップして選択します（❶）。

2 スタイルを選択する

インスペクタに選択可能なトランジションのスタイルが表示されます。設定したいスタイルをタップします（❶）。

Memo 選択できないトランジションがある

クリップの継続時間が短すぎてトランジションに必要な時間が確保できない場合、トランジションがグレーアウトして選択できません。

3 継続時間を指定する

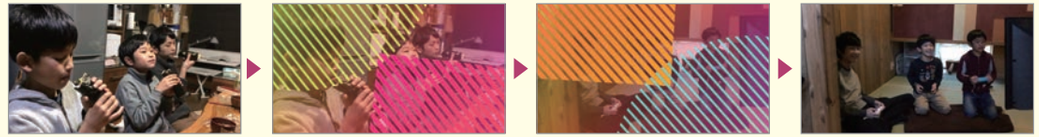
インスペクタにあるトランジションの継続時間をタップします（❶）。設定できる時間は前後のクリップの長さや使用するトランジションによって異なりますが、最大で2秒まで設定できます。

Memo トランジションの種類

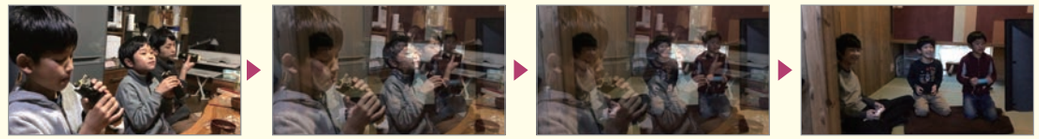
なし

テーマ

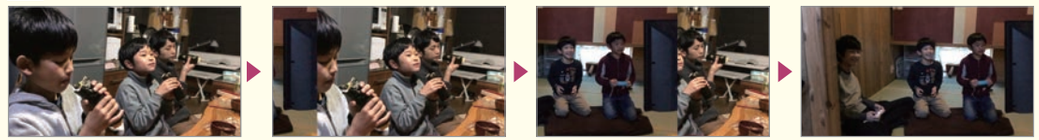
※効果は、使用しているテーマによって異なります。



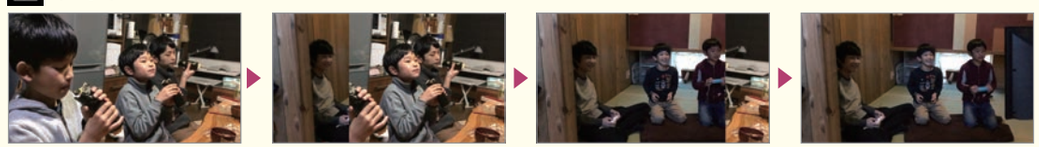
ディゾルブ



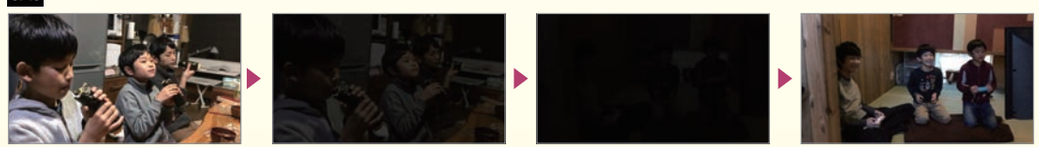
スライド



ワイプ



フェード



Section 72

作成したムービーを出力・共有する

覚えておきたいキーワード
- アプリ
- LINE
- 転送

iOS／iPadOS版iMovieでは、あらかじめインストールされたアプリのサービスと連携し、LINEやTwitter、FacebookなどのSNSなどで共有することができます。ここではLINEを例にとって解説します。

1 プロジェクトを出力する

1 プロジェクト画面を開く

編集画面左上の＜完了＞をタップします(❶)。プロジェクト画面が表示されている場合は、共有・出力したいプロジェクトをタップします。

2 送信オプションを設定する

＜送信＞ボタンをタップし(❶)、＜オプション＞をタップします(❷)。

3 解像度を設定する

共有するムービーの解像度を設定します(❶)。ここでは例として解像度＜720p HD＞を設定します。＜完了＞をタップします。

2 ムービーを出力する

1 アプリを選択する

共有可能なアプリアイコン一覧から利用したいアイコンをタップします(❶)。ここでは、＜LINE＞アイコンをタップします。

2 送信先を指定する

送信先の選択画面が表示されます。ムービーを送信したい相手をタップします(❶)。

Memo 送りたい相手が表示されない

送信先一覧にムービーを送りたい相手が表示されていない場合、＜もっと見る＞をタップして送信先を選択してください。

3 メッセージを転送する

メッセージを入力し(❶)、＜転送＞をタップします(❷)。LINEメッセージが送信されます。LINEアプリを起動し、確認してみましょう。

Memo iPhoneでファイルとして保存するには

手順1の画面で上方向にスワイプすると表示される＜ビデオを保存＞をタップします。

Section 15

よく使うクリップにマークを付ける

覚えておきたいキーワード
- よく使う項目
- レートなし
- 緑色のライン

iMovieでは、よく使う素材（クリップ）にマークを付けることができます。クリップにマークを付けると、マークの付いたクリップのみを抽出できるようになります。編集作業時に使いたい項目を選ぶのに便利です。

1 よく使う項目に登録する

1 よく使うクリップを選択する

「ライブラリ」リストからイベントを選択し、ブラウザにクリップを表示します（❶）。ブラウザで、登録したいクリップをクリックし、クリップ全体を選択します（❷）。複数のクリップを選択するには、command を押しながらクリックします。

Memo クリップの一部を登録するには

ブラウザで、クリップの一部を r を押しながらドラグしてからよく使う項目に登録します。

2 よく使う項目に登録する

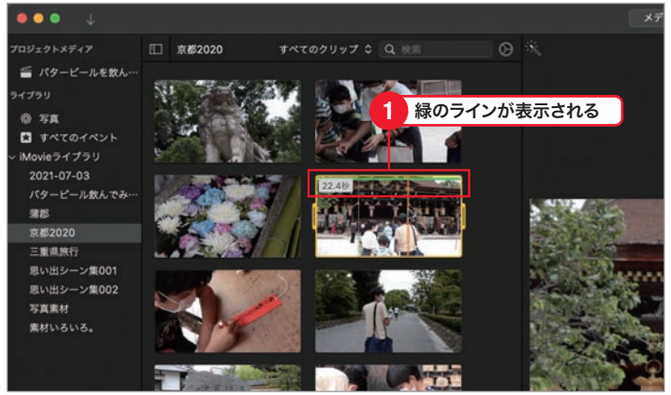
＜マーク＞メニュー→＜よく使う項目＞の順にクリックします（❶）。

Keyword マーク

iMovieでは、クリップにマークを付けることで、マークを付けたクリップだけを選別して表示することができます。特定のクリップのみを表示したい場合に便利です。

3 登録された

＜よく使う項目＞に登録されると、ブラウザのサムネールの上部に緑色のラインが表示されます（❶）。



2 よく使う項目のみを表示する

1 表示するクリップを絞り込む

ブラウザの右上のポップアップメニューから、＜よく使う項目＞をクリックします（❶）。

Memo 表示可能な項目

ポップアップメニューから、ブラウザに表示するクリップを選択することができます。
- 「すべてのクリップ」：すべてのクリップを表示
- 「不採用を隠す」：不採用にしたクリップを非表示
- 「よく使う項目」：よく使う項目を表示
- 「不採用」：不採用にしたクリップを表示

2 よく使う項目が表示される

＜よく使う項目＞マークの付いたクリップだけが表示され、その他のクリップは非表示になります（❶）。

Section 17

クリップをタイムラインに追加する

覚えておきたいキーワード
- クリップ
- タイムライン
- イベント

ビデオクリップや写真、オーディオクリップといった素材は、タイムラインに配置することではじめて、ムービーの一部として編集できるようになります。ここでは、クリップをタイムラインに追加する方法を解説します。

1 クリップを追加する

1 クリップを選択する

「ライブラリ」リストから、使いたいクリップが入ったイベントをクリックします(❶)。ブラウザで、目的のクリップをクリックして選択します(❷)。

Hint クリップの一部分を選択するには

ブラウザ上のクリップをrを押しながらドラッグすると、クリップの一部を部分的に選択することができます。

2 タイムラインに追加する

追加したい位置にクリップをドラッグすると、タイムラインにクリップが追加されます(❶)。

Hint タイムラインの末尾に追加する

クリップをクリックしたときに表示される<+>をクリックするか、eを押すと、クリップがタイムラインの末尾に追加されます。

2 クリップを置き換える

1 クリップをドラッグする

ブラウザで置き換えたいクリップを選択し(❶)、タイムライン上にある置き換え元のクリップにドラッグして重ねます(❷)。

2 <置き換える>をクリックする

メニューが表示されるので、<置き換える>をクリックします(❶)。

Hint その他の置き換え方法

タイムラインに配置済みのクリップの継続時間を保ったまま、クリップの先頭から置き換えるには<始点から置き換える>をクリックします。同様に、クリップの終点を基点として置き換える場合は<終点から置き換える>をクリックします。

Stepup クリップを挿入するには

手順2の画面で<挿入>をクリックすると(❶)、ドラッグ先にあったクリップは分割され、新しくクリップが挿入されます。

Section 22

映像の切り替え効果を付ける ― トランジション ―

覚えておきたいキーワード

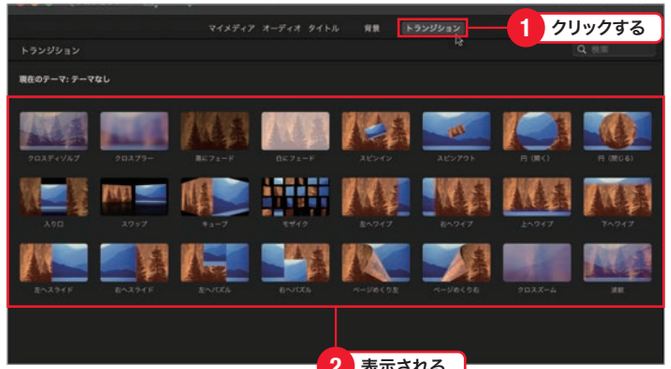
- トランジション
- 切り替え効果
- クロスディゾルブ

iMovieでは、クリップとクリップのつなぎに様々な効果を与えるトランジションが数十種類用意されています。余韻を残しながら次のクリップに移りたい場合や、場面転換シーンなどで使うと効果的です。

1 トランジションを追加する

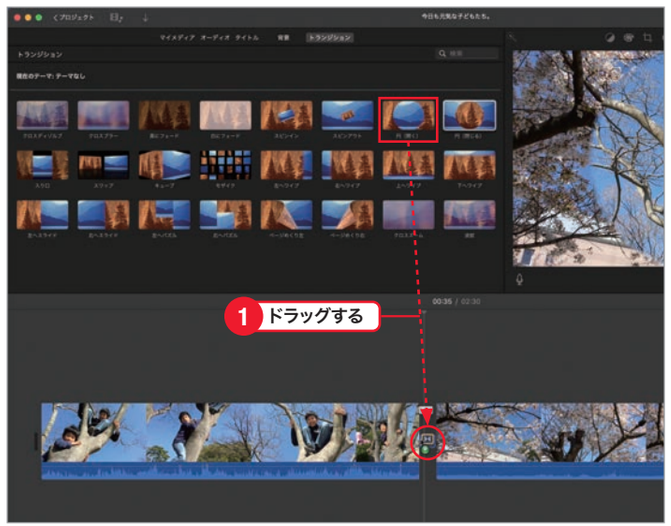
1 トランジションを表示する

ブラウザ上部の＜トランジション＞をクリックすると（❶）、ブラウザにトランジションが一覧表示されます（❷）。トランジション上でポインタを左右に動かすと、ビューアでトランジションの動きがプレビューできます。



2 トランジションを追加する

使用したいトランジションをタイムライン上のクリップとクリップの間にドラッグすると、トランジションが追加されます（❶）。



Memo トランジションを置き換える

すでにトランジションが設定されている場合、同様の操作で、適用したいトランジションをトランジションアイコンの上へドラッグすると置き換えられます。

2 トランジションの継続時間を変更する

1 トランジションアイコンをダブルクリックする

タイムライン上のトランジションアイコンをダブルクリックし、トランジションコントロールを表示します（❶）。

2 トランジションの継続時間を変更する

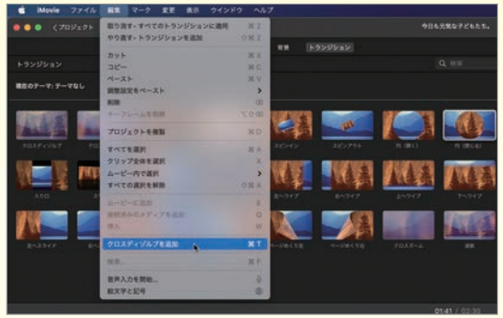
＜継続時間＞フィールドの数字を変更すると、トランジションの継続時間を変更できます（❶）。継続時間は、0.1秒単位で設定可能です。最後に＜適用＞をクリックします（❷）。

Hint ほかのトランジションにも同じ設定を適用する

トランジションアイコンをダブルクリックして、＜すべてに適用＞をクリックすると、そのトランジションの設定がほかのトランジションにも適用されます。適用されるのは、はじめにダブルクリックしたトランジションの「タイプ」と「継続時間」です。

Stepup すべてのクリップ間にトランジションを設定したい

すべてのクリップにトランジションを追加するには、command＋aキーを押してタイムライン上のクリップをすべて選択した後、＜編集＞→＜クロスディゾルブを追加＞の順にクリックします。
トランジションの種類は＜クロスディゾルブ＞なので、必要に応じて修正します。



Section 26

映像のカラーバランスを手動で補正する

覚えておきたいキーワード
- 色補正
- マルチスライダ
- サチュレーション

自動のカラーバランス補正だけでは調整しきれないような補正は、手動で行うことができます。インターフェイスは直感的で、初心者でも調整しやすいものになっています。

1 明るさとコントラストを調整する

1 明るさを調整する

明るさを調整したいクリップを選択しておきます。ビューア上部の<色補正>をクリックします(❶)。マルチスライダコントロールの<●>/<●>/<●>を左右にドラッグすることで、クリップの明るさを調整します(❷)。

2 コントラストを調整する

マルチスライダコントロールの<●>/<●>を左右にドラッグすると、クリップのコントラストを調整できます(❶)。

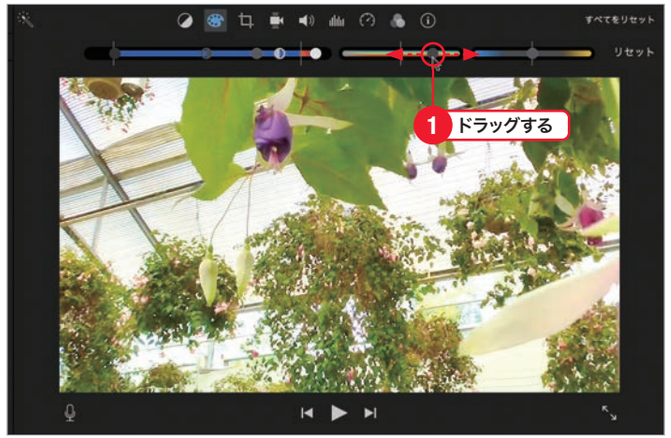
Hint ほかのシーンの調整結果を確認したい

色補正を行っている途中に、クリップ上にカーソルを合わせてスキミングすることで、同一クリップのほかのシーンではどのように見えるかを確認することができます。

2 彩度と色温度を調整する

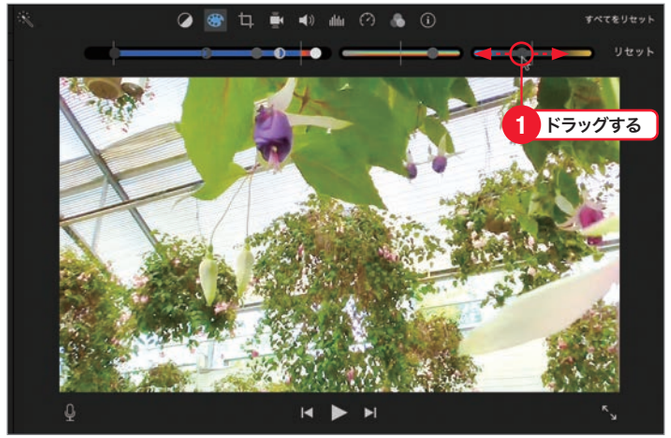
1 彩度を調整する

前ページ手順1の画面で、サチュレーションスライダを左右にドラッグすると、クリップの色の鮮やかさを調整することができます(❶)。



2 色温度を調整する

色温度スライダを左右にドラッグすると、クリップの色温度を調整することができます(❶)。

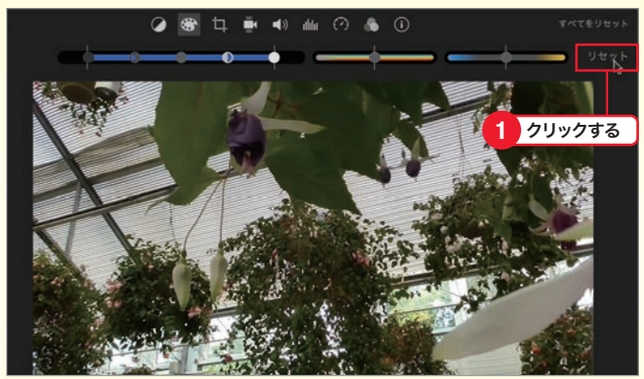


Stepup 彩度/色温度を使った表現

サチュレーションスライダを一番左側にすると、白黒になります。その後、色温度を調整すると、シアン調、セピア調のモノトーンを表現することができます。

Hint 補正を解除する

色補正を解除したい場合は、<リセット>をクリックします(❶)。



Section

33 映像を部分的に置き換える — カットアウェイ —

覚えておきたいキーワード

- カットアウェイ
- 不透明度
- フェード

カットアウェイとは、ベースとなるクリップを再生中に別のクリップを重ねることで、一時的にクリップを切り替える手法です。クリップの挿入とは異なり、ベースとなるクリップを分割しないため、クリップの位置を柔軟に調整できます。

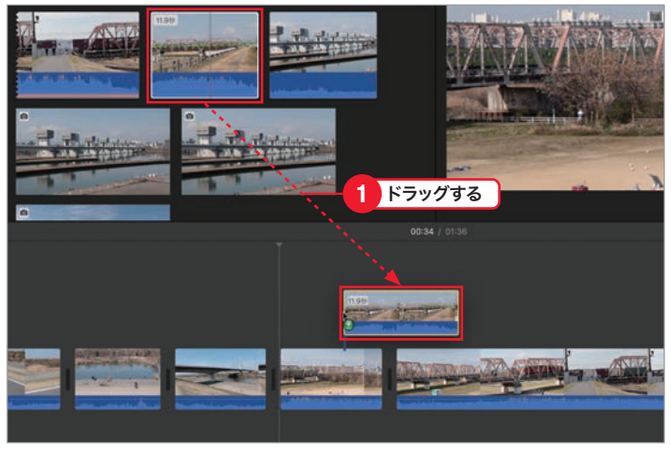
1 カットアウェイクリップを追加する

1 クリップを選択する

イベントをブラウザに表示し、カットアウェイとして使用するクリップを選択します（❶）。

2 カットアウェイで配置する

選択したクリップを、タイムライン上の、ベースとなるクリップの上の余白部分にドラッグします（❶）。



3 カットアウェイクリップが配置された

カットアウェイクリップが配置されました（❶）。クリップ上でポインタを動かしてスキミングすると、ビューアで効果を確認できます（❷）。

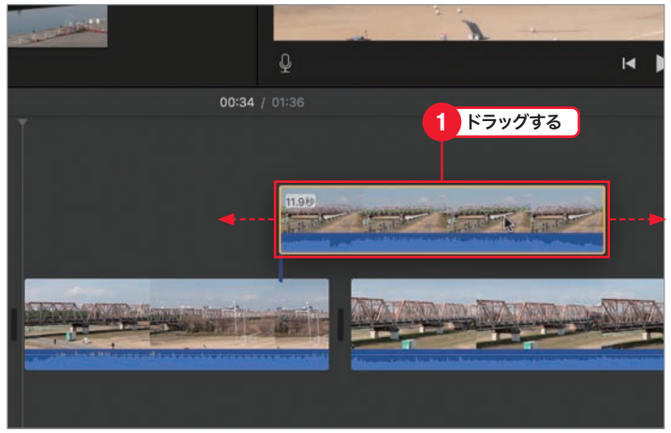
Hint カットアウェイクリップを削除する

タイムライン上のカットアウェイクリップをクリックし、delete を押すと削除できます。

2 カットアウェイクリップの位置と継続時間を調整する

1 位置を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップをドラッグすると、位置を調整することができます（❶）。

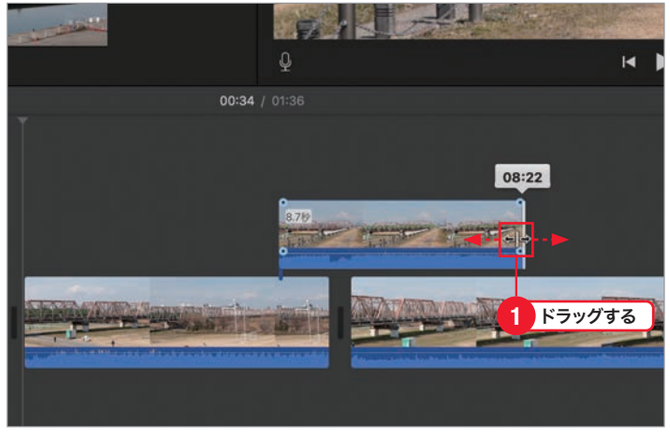


Memo クリップをまたいでも大丈夫?

カットアウェイクリップは、ベースとなるクリップとほかのクリップをまたいで配置しても問題ありません。

2 継続時間を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップの端部を左右にドラッグすると、継続時間を調整することができます（❶）。



Section 50

オーディオの音量を詳細に調整する

覚えておきたいキーワード
- キーフレーム
- キーフレームを削除
- 音量コントロール

動画に含まれる音声や効果音、BGMは、キーフレームを追加することで部分的に音量を調整することができます。また、BGMの音量を抑えて動画側の音声を聞かせたい場合などに使えるテクニックを紹介します。

1 キーフレームで音量を微調整する

1 キーフレームを追加する

タイムライン上のクリップの波形上にある音量コントロールを option を押したままクリックし、2つ以上のキーフレームを追加します(❶)。

2 キーフレームの位置を移動する

キーフレームを左右にドラッグし、オーディオの音量を変更したい位置に移動します(❶)。

3 音量を変更する

キーフレーム、またはキーフレーム間の音量コントロールを上下にドラッグすると、オーディオの音量を変更することができます(❶)。

Hint キーフレームを削除する

キーフレームを削除するには、 control を押しながらキーフレームをクリックし、<キーフレームを削除>をクリックします。まとめて削除する場合は、 shift を押しながら複数選択してから削除します。

2 選択したクリップのオーディオを優先する

1 メインのクリップを選択する

タイムライン上で、聞かせたいオーディオが含まれるクリップを選択します(❶)。

2 <ほかのクリップの音量を下げる>をクリックする

ブラウザ上部の<ボリューム>をクリックし(❶)、<ほかのクリップの音量を下げる>をクリックしてオンにします(❷)。

3 効果を確認する

選択したクリップが再生されている間は、ほかのクリップの音量が下げられたのが確認できます(❶)。音量の下げ幅を調整するには、<ほかのクリップの音量を下げる>スライダを調整します(❷)。

Section

64 プロジェクトを作成する

覚えておきたいキーワード
- プロジェクト
- ムービー
- テーマ

iOS ／ iPadOS版iMovieも、Mac版と同じ手順でムービーを作成していきます。本書では、iPadのランドスケープモード（横位置）で使用した画面で解説しています。

1 新規プロジェクトを作成する

1 新規プロジェクトを作成する

上部メニューの＜プロジェクト＞をタップし（❶）、プロジェクトブラウザ内の＜＋＞をタップします（❷）。現在の画面が編集画面の場合は、＜完了＞→＜プロジェクト＞をタップして、いったんプロジェクトブラウザに戻ります。

2 ＜ムービー＞をタップする

新規プロジェクト画面で、通常のムービーか、映画の予告編風ムービーかを指定します。ここでは、＜ムービー＞をタップします（❶）。予告編の作成方法については、P.182を参照してください。

3 メディアを選択する

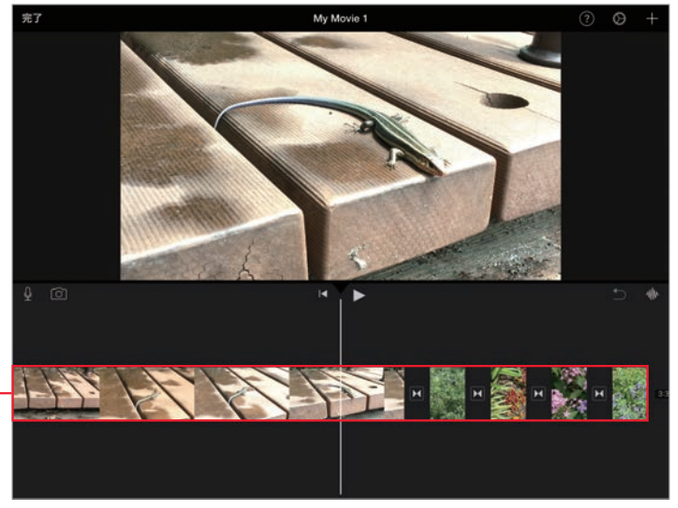
編集素材として使用したいビデオをタップして選択します（❶）。このとき、長押しすると拡大表示されます。選択が完了したら＜ムービーを作成＞をタップします（❷）。

Memo ムービーの解像度について

iPhoneまたはiPadのiMovieでは、プロジェクト内のクリップの解像度が一番高いクリップに合わせてムービーが作成されます。フルHDサイズ（1,920 x 1,080ピクセル）のクリップと4Kサイズ（3,840 × 2,160ピクセル）が同じプロジェクトにある場合は4Kサイズで出力されます。

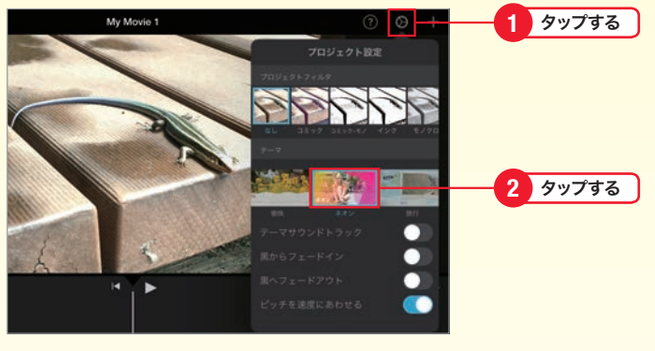
4 プロジェクトが作成された

プロジェクトが作成されました（❶）。選択したクリップが自動的にタイムラインに並べられます。



Stepup テーマを変更するには

プロジェクトを作成すると、自動的に＜シンプル＞というテーマが適用されます。このテーマを変更するには、画面右上の＜プロジェクト設定＞をタップし（❶）、好みのテーマをタップして選択します（❷）。



Section

69 トランジションを変更する

覚えておきたいキーワード
- トランジション
- クロスディゾルブ
- ワイプ

クリップとクリップの間のつなぎ効果のことをトランジションといいます。必要に応じてトランジションを変更しましょう。iOS／iPadOS版iMovieでは、タイムラインにクリップを追加すると、自動的にディゾルブが適用されます。

1 トランジションを変更する

1 トランジションアイコンを選択する

タイムライン上で、クリップ間に配置されているトランジションアイコンをタップして選択します（❶）。

2 スタイルを選択する

インスペクタに選択可能なトランジションのスタイルが表示されます。設定したいスタイルをタップします（❶）。

Memo 選択できないトランジションがある

クリップの継続時間が短すぎてトランジションに必要な時間が確保できない場合、トランジションがグレーアウトして選択できません。

3 継続時間を指定する

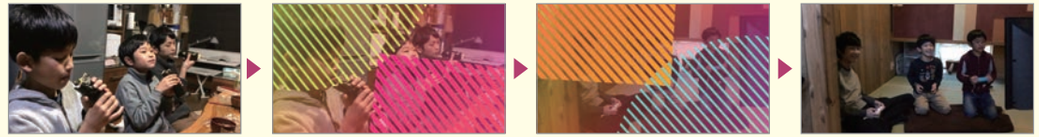
インスペクタにあるトランジションの継続時間をタップします（❶）。設定できる時間は前後のクリップの長さや使用するトランジションによって異なりますが、最大で2秒まで設定できます。

Memo トランジションの種類

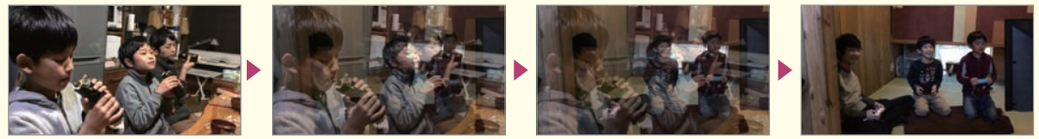
なし

テーマ

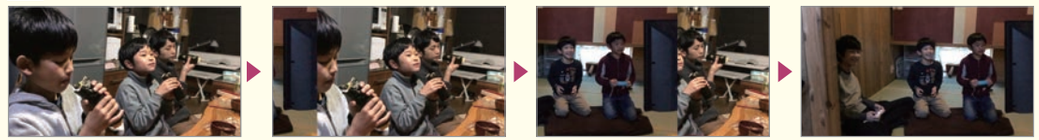
※効果は、使用しているテーマによって異なります。



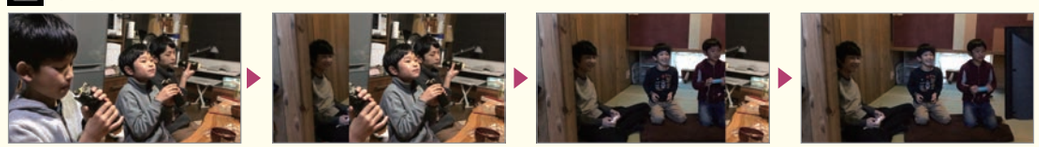
ディゾルブ



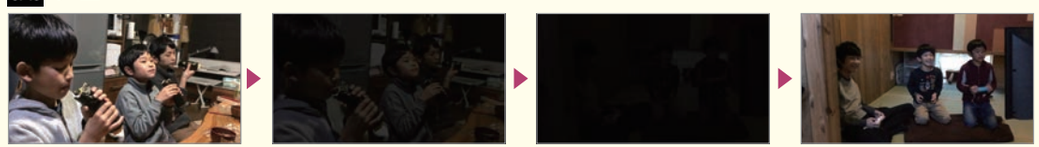
スライド



ワイプ



フェード



Section 72

作成したムービーを出力・共有する

覚えておきたいキーワード
- アプリ
- LINE
- 転送

iOS／iPadOS版iMovieでは、あらかじめインストールされたアプリのサービスと連携し、LINEやTwitter、FacebookなどのSNSなどで共有することができます。ここではLINEを例にとって解説します。

1 プロジェクトを出力する

1 プロジェクト画面を開く

編集画面左上の＜完了＞をタップします(❶)。プロジェクト画面が表示されている場合は、共有・出力したいプロジェクトをタップします。

2 送信オプションを設定する

＜送信＞ボタンをタップし(❶)、＜オプション＞をタップします(❷)。

3 解像度を設定する

共有するムービーの解像度を設定します(❶)。ここでは例として解像度＜720p HD＞を設定します。＜完了＞をタップします。

2 ムービーを出力する

1 アプリを選択する

共有可能なアプリアイコン一覧から利用したいアイコンをタップします(❶)。ここでは、＜LINE＞アイコンをタップします。

2 送信先を指定する

送信先の選択画面が表示されます。ムービーを送信したい相手をタップします(❶)。

Memo 送りたい相手が表示されない

送信先一覧にムービーを送りたい相手が表示されていない場合、＜もっと見る＞をタップして送信先を選択してください。

3 メッセージを転送する

メッセージを入力し(❶)、＜転送＞をタップします(❷)。LINEメッセージが送信されます。LINEアプリを起動し、確認してみましょう。

Memo iPhoneでファイルとして保存するには

手順1の画面で上方向にスワイプすると表示される＜ビデオを保存＞をタップします。

Section 17

クリップをタイムラインに追加する

覚えておきたいキーワード
- クリップ
- タイムライン
- イベント

ビデオクリップや写真、オーディオクリップといった素材は、タイムラインに配置することではじめて、ムービーの一部として編集できるようになります。ここでは、クリップをタイムラインに追加する方法を解説します。

1 クリップを追加する

1 クリップを選択する

「ライブラリ」リストから、使いたいクリップが入ったイベントをクリックします(❶)。ブラウザで、目的のクリップをクリックして選択します(❷)。

Hint クリップの一部分を選択するには

ブラウザ上のクリップをrを押しながらドラッグすると、クリップの一部を部分的に選択することができます。

2 タイムラインに追加する

追加したい位置にクリップをドラッグすると、タイムラインにクリップが追加されます(❶)。

Hint タイムラインの末尾に追加する

クリップをクリックしたときに表示される<+>をクリックするか、eを押すと、クリップがタイムラインの末尾に追加されます。

2 クリップを置き換える

1 クリップをドラッグする

ブラウザで置き換えたいクリップを選択し(❶)、タイムライン上にある置き換え元のクリップにドラッグして重ねます(❷)。

2 <置き換える>をクリックする

メニューが表示されるので、<置き換える>をクリックします(❶)。

Hint その他の置き換え方法

タイムラインに配置済みのクリップの継続時間を保ったまま、クリップの先頭から置き換えるには<始点から置き換える>をクリックします。同様に、クリップの終点を基点として置き換える場合は<終点から置き換える>をクリックします。

Stepup クリップを挿入するには

手順2の画面で<挿入>をクリックすると(❶)、ドラッグ先にあったクリップは分割され、新しくクリップが挿入されます。

Section 22

映像の切り替え効果を付ける ― トランジション ―

覚えておきたいキーワード

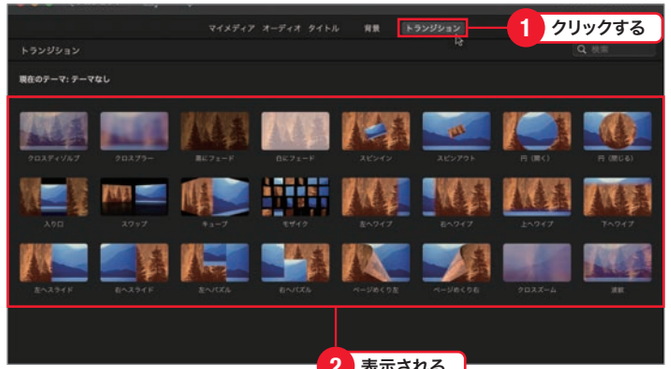
- トランジション
- 切り替え効果
- クロスディゾルブ

iMovieでは、クリップとクリップのつなぎに様々な効果を与えるトランジションが数十種類用意されています。余韻を残しながら次のクリップに移りたい場合や、場面転換シーンなどで使うと効果的です。

1 トランジションを追加する

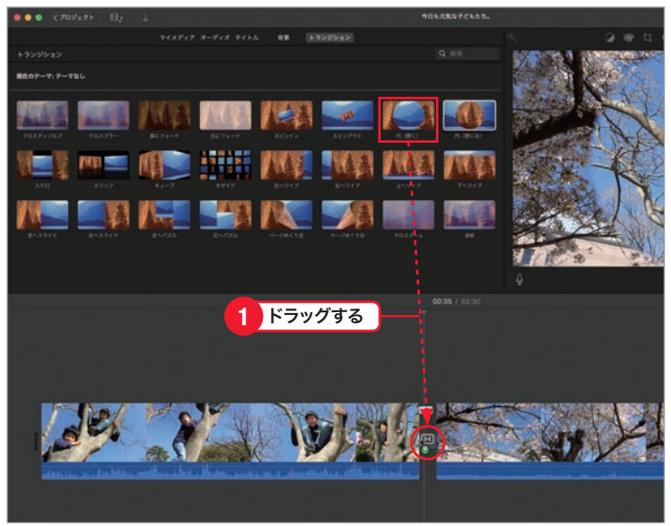
1 トランジションを表示する

ブラウザ上部の＜トランジション＞をクリックすると（❶）、ブラウザにトランジションが一覧表示されます（❷）。トランジション上でポインタを左右に動かすと、ビューアでトランジションの動きがプレビューできます。



2 トランジションを追加する

使用したいトランジションをタイムライン上のクリップとクリップの間にドラッグすると、トランジションが追加されます（❶）。



Memo トランジションを置き換える

すでにトランジションが設定されている場合、同様の操作で、適用したいトランジションをトランジションアイコンの上へドラッグすると置き換えられます。

2 トランジションの継続時間を変更する

1 トランジションアイコンをダブルクリックする

タイムライン上のトランジションアイコンをダブルクリックし、トランジションコントロールを表示します（❶）。

2 トランジションの継続時間を変更する

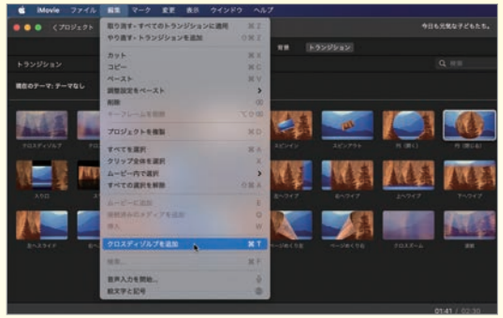
＜継続時間＞フィールドの数字を変更すると、トランジションの継続時間を変更できます（❶）。継続時間は、0.1秒単位で設定可能です。最後に＜適用＞をクリックします（❷）。

Hint ほかのトランジションにも同じ設定を適用する

トランジションアイコンをダブルクリックして、＜すべてに適用＞をクリックすると、そのトランジションの設定がほかのトランジションにも適用されます。適用されるのは、はじめにダブルクリックしたトランジションの「タイプ」と「継続時間」です。

Stepup すべてのクリップ間にトランジションを設定したい

すべてのクリップにトランジションを追加するには、command＋aキーを押してタイムライン上のクリップをすべて選択した後、＜編集＞→＜クロスディゾルブを追加＞の順にクリックします。
トランジションの種類は＜クロスディゾルブ＞なので、必要に応じて修正します。



Section 26

映像のカラーバランスを手動で補正する

覚えておきたいキーワード
- 色補正
- マルチスライダ
- サチュレーション

自動のカラーバランス補正だけでは調整しきれないような補正は、手動で行うことができます。インターフェイスは直感的で、初心者でも調整しやすいものになっています。

1 明るさとコントラストを調整する

1 明るさを調整する

明るさを調整したいクリップを選択しておきます。ビューア上部の<色補正>をクリックします(❶)。マルチスライダコントロールの<●>/<●>/<●>を左右にドラッグすることで、クリップの明るさを調整します(❷)。

2 コントラストを調整する

マルチスライダコントロールの<●>/<●>を左右にドラッグすると、クリップのコントラストを調整できます(❶)。

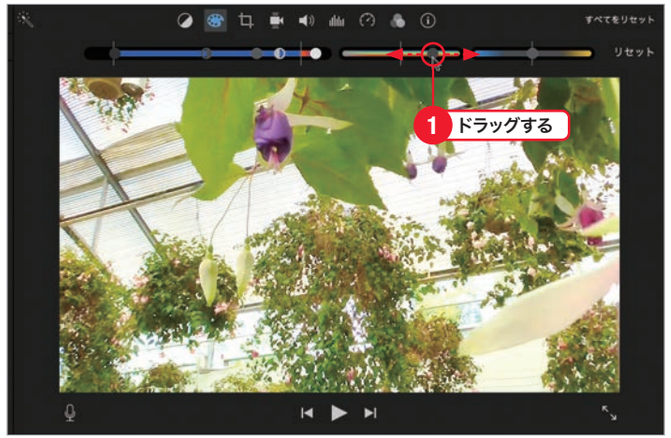
Hint ほかのシーンの調整結果を確認したい

色補正を行っている途中に、クリップ上にカーソルを合わせてスキミングすることで、同一クリップのほかのシーンではどのように見えるかを確認することができます。

2 彩度と色温度を調整する

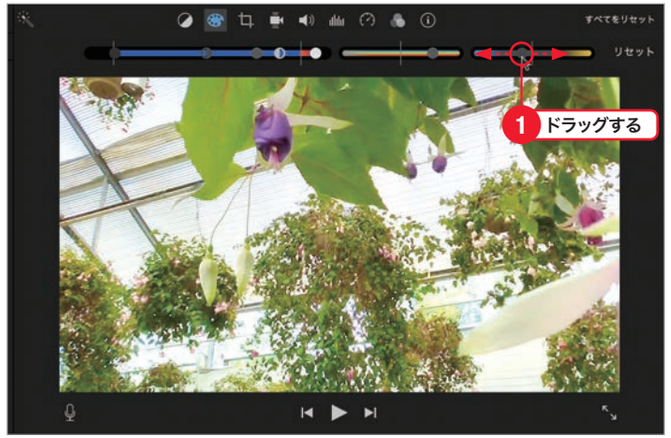
1 彩度を調整する

前ページ手順1の画面で、サチュレーションスライダを左右にドラッグすると、クリップの色の鮮やかさを調整することができます(❶)。



2 色温度を調整する

色温度スライダを左右にドラッグすると、クリップの色温度を調整することができます(❶)。

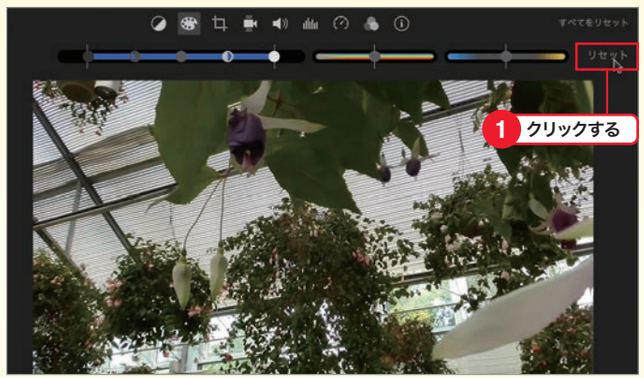


Stepup 彩度/色温度を使った表現

サチュレーションスライダを一番左側にすると、白黒になります。その後、色温度を調整すると、シアン調、セピア調のモノトーンを表現することができます。

Hint 補正を解除する

色補正を解除したい場合は、<リセット>をクリックします(❶)。



Section

33 映像を部分的に置き換える — カットアウェイ —

覚えておきたいキーワード

- カットアウェイ
- 不透明度
- フェード

カットアウェイとは、ベースとなるクリップを再生中に別のクリップを重ねることで、一時的にクリップを切り替える手法です。クリップの挿入とは異なり、ベースとなるクリップを分割しないため、クリップの位置を柔軟に調整できます。

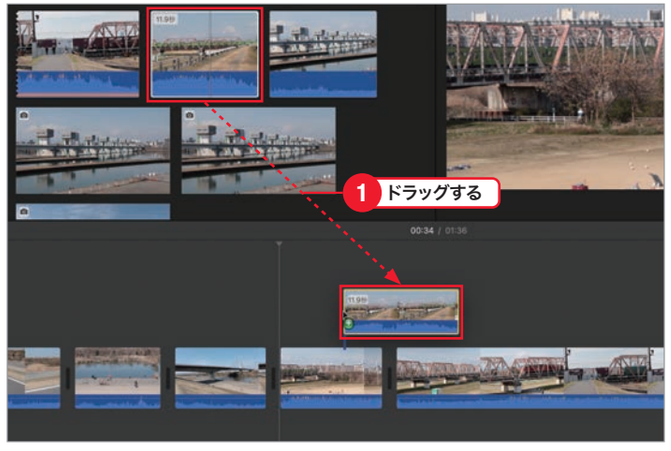
1 カットアウェイクリップを追加する

1 クリップを選択する

イベントをブラウザに表示し、カットアウェイとして使用するクリップを選択します（❶）。

2 カットアウェイで配置する

選択したクリップを、タイムライン上の、ベースとなるクリップの上の余白部分にドラッグします（❶）。



3 カットアウェイクリップが配置された

カットアウェイクリップが配置されました（❶）。クリップ上でポインタを動かしてスキミングすると、ビューアで効果を確認できます（❷）。

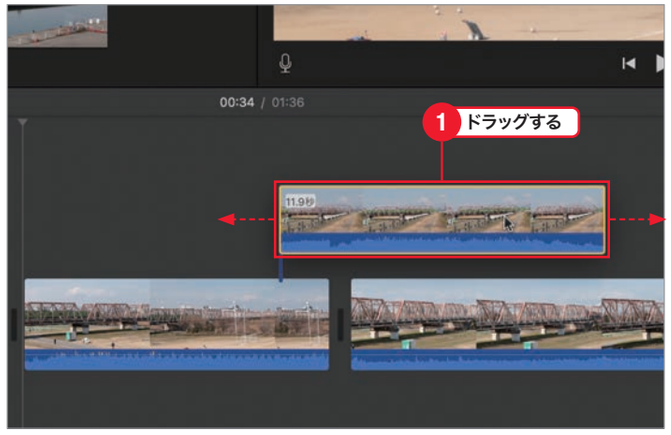
Hint カットアウェイクリップを削除する

タイムライン上のカットアウェイクリップをクリックし、delete を押すと削除できます。

2 カットアウェイクリップの位置と継続時間を調整する

1 位置を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップをドラッグすると、位置を調整することができます（❶）。

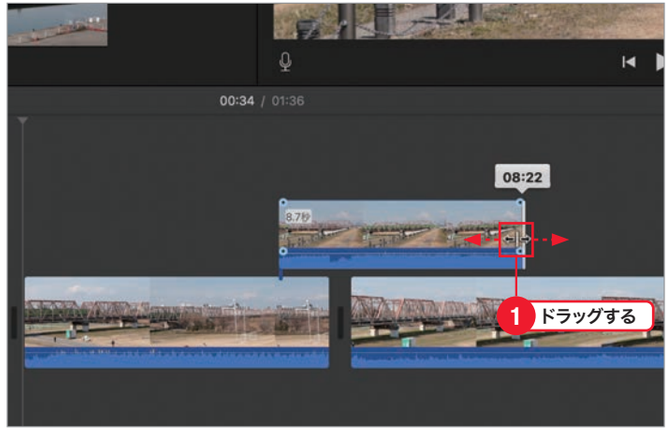


Memo クリップをまたいでも大丈夫?

カットアウェイクリップは、ベースとなるクリップとほかのクリップをまたいで配置しても問題ありません。

2 継続時間を調整する

タイムライン上のカットアウェイクリップの端部を左右にドラッグすると、継続時間を調整することができます（❶）。



Section 50

オーディオの音量を詳細に調整する

覚えておきたいキーワード

- キーフレーム
- キーフレームを削除
- 音量コントロール

動画に含まれる音声や効果音、BGMは、キーフレームを追加することで部分的に音量を調整することができます。また、BGMの音量を抑えて動画側の音声を聞かせたい場合などに使えるテクニックを紹介します。

1 キーフレームで音量を微調整する

1 キーフレームを追加する

タイムライン上のクリップの波形上にある音量コントロールを option を押したままクリックし、2つ以上のキーフレームを追加します(❶)。

2 キーフレームの位置を移動する

キーフレームを左右にドラッグし、オーディオの音量を変更したい位置に移動します(❶)。

3 音量を変更する

キーフレーム、またはキーフレーム間の音量コントロールを上下にドラッグすると、オーディオの音量を変更することができます(❶)。

Hint キーフレームを削除する

キーフレームを削除するには、 control を押しながらキーフレームをクリックし、<キーフレームを削除>をクリックします。まとめて削除する場合は、 shift を押しながら複数選択してから削除します。

2 選択したクリップのオーディオを優先する

1 メインのクリップを選択する

タイムライン上で、聞かせたいオーディオが含まれるクリップを選択します(❶)。

2 <ほかのクリップの音量を下げる>をクリックする

ブラウザ上部の<ボリューム>をクリックし(❶)、<ほかのクリップの音量を下げる>をクリックしてオンにします(❷)。

3 効果を確認する

選択したクリップが再生されている間は、ほかのクリップの音量が下げられたのが確認できます(❶)。音量の下げ幅を調整するには、<ほかのクリップの音量を下げる>スライダを調整します(❷)。

Section

64 プロジェクトを作成する

覚えておきたいキーワード
- プロジェクト
- ムービー
- テーマ

iOS ／ iPadOS版iMovieも、Mac版と同じ手順でムービーを作成していきます。本書では、iPadのランドスケープモード（横位置）で使用した画面で解説しています。

1 新規プロジェクトを作成する

1 新規プロジェクトを作成する

上部メニューの＜プロジェクト＞をタップし（❶）、プロジェクトブラウザ内の＜＋＞をタップします（❷）。現在の画面が編集画面の場合は、＜完了＞→＜プロジェクト＞をタップして、いったんプロジェクトブラウザに戻ります。

2 ＜ムービー＞をタップする

新規プロジェクト画面で、通常のムービーか、映画の予告編風ムービーかを指定します。ここでは、＜ムービー＞をタップします（❶）。予告編の作成方法については、P.182を参照してください。

3 メディアを選択する

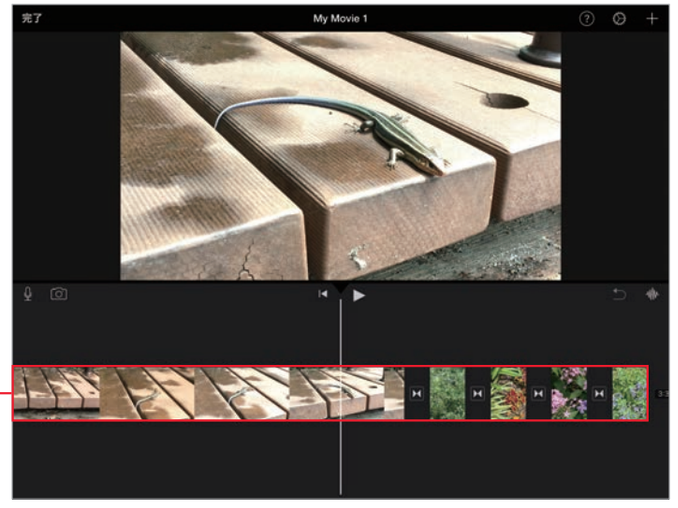
編集素材として使用したいビデオをタップして選択します（❶）。このとき、長押しすると拡大表示されます。選択が完了したら＜ムービーを作成＞をタップします（❷）。

Memo ムービーの解像度について

iPhoneまたはiPadのiMovieでは、プロジェクト内のクリップの解像度が一番高いクリップに合わせてムービーが作成されます。フルHDサイズ（1,920 x 1,080ピクセル）のクリップと4Kサイズ（3,840 × 2,160ピクセル）が同じプロジェクトにある場合は4Kサイズで出力されます。

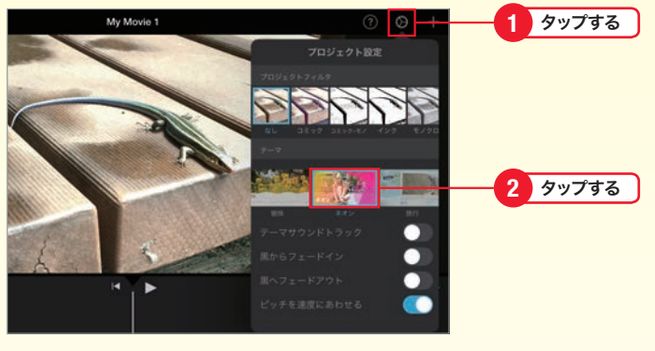
4 プロジェクトが作成された

プロジェクトが作成されました（❶）。選択したクリップが自動的にタイムラインに並べられます。



Stepup テーマを変更するには

プロジェクトを作成すると、自動的に＜シンプル＞というテーマが適用されます。このテーマを変更するには、画面右上の＜プロジェクト設定＞をタップし（❶）、好みのテーマをタップして選択します（❷）。



Section

69 トランジションを変更する

覚えておきたいキーワード
- トランジション
- クロスディゾルブ
- ワイプ

クリップとクリップの間のつなぎ効果のことをトランジションといいます。必要に応じてトランジションを変更しましょう。iOS／iPadOS版iMovieでは、タイムラインにクリップを追加すると、自動的にディゾルブが適用されます。

1 トランジションを変更する

1 トランジションアイコンを選択する

タイムライン上で、クリップ間に配置されているトランジションアイコンをタップして選択します（❶）。

2 スタイルを選択する

インスペクタに選択可能なトランジションのスタイルが表示されます。設定したいスタイルをタップします（❶）。

Memo 選択できないトランジションがある

クリップの継続時間が短すぎてトランジションに必要な時間が確保できない場合、トランジションがグレーアウトして選択できません。

3 継続時間を指定する

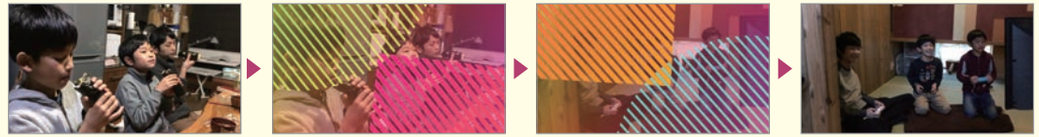
インスペクタにあるトランジションの継続時間をタップします（❶）。設定できる時間は前後のクリップの長さや使用するトランジションによって異なりますが、最大で2秒まで設定できます。

Memo トランジションの種類

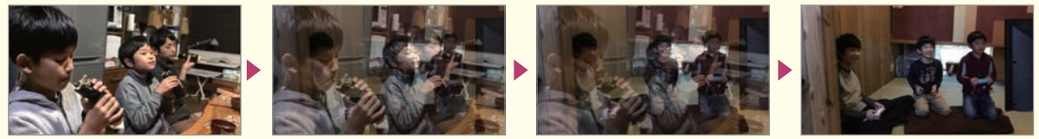
なし

テーマ

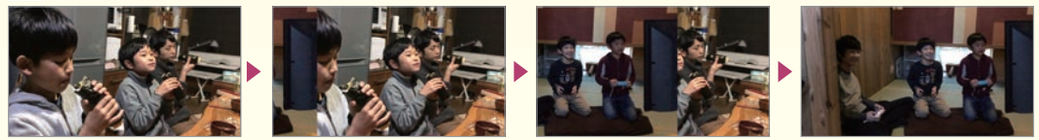
※効果は、使用しているテーマによって異なります。



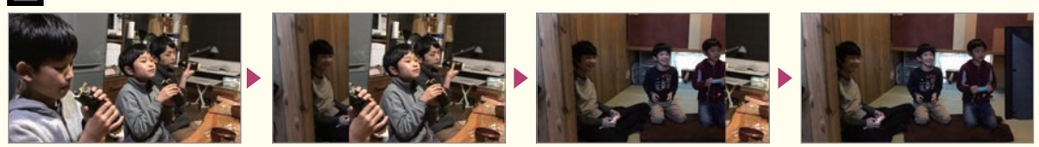
ディゾルブ



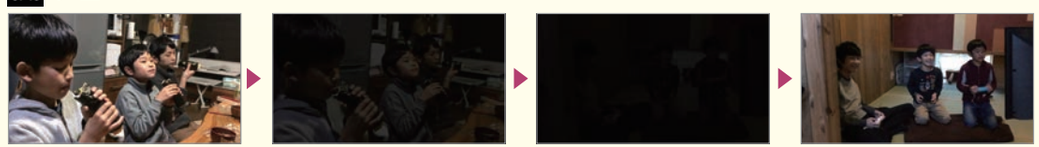
スライド



ワイプ



フェード



Section 72

作成したムービーを出力・共有する

覚えておきたいキーワード
- アプリ
- LINE
- 転送

iOS／iPadOS版iMovieでは、あらかじめインストールされたアプリのサービスと連携し、LINEやTwitter、Facebookなどの SNSなどで共有することができます。ここではLINEを例にとって解説します。

1 プロジェクトを出力する

1 プロジェクト画面を開く

編集画面左上の＜完了＞をタップします(❶)。プロジェクト画面が表示されている場合は、共有・出力したいプロジェクトをタップします。

2 送信オプションを設定する

＜送信＞ボタンをタップし(❶)、＜オプション＞をタップします(❷)。

3 解像度を設定する

共有するムービーの解像度を設定します(❶)。ここでは例として解像度＜720p HD＞を設定します。＜完了＞をタップします。

2 ムービーを出力する

1 アプリを選択する

共有可能なアプリアイコン一覧から利用したいアイコンをタップします(❶)。ここでは、＜LINE＞アイコンをタップします。

2 送信先を指定する

送信先の選択画面が表示されます。ムービーを送信したい相手をタップします(❶)。

Memo 送りたい相手が表示されない

送信先一覧にムービーを送りたい相手が表示されていない場合、＜もっと見る＞をタップして送信先を選択してください。

3 メッセージを転送する

メッセージを入力し(❶)、＜転送＞をタップします(❷)。LINEメッセージが送信されます。LINEアプリを起動し、確認してみましょう。

Memo iPhoneでファイルとして保存するには

手順1の画面で上方向にスワイプすると表示される＜ビデオを保存＞をタップします。